

表 191 落花生粕：世界の取引 1,000トン

国 別	80/81		81/82		82/83	
	生産量	%	生産量	%	生産量	%
輸 出 国						
イ ン ド	393.7	47.9	274.8	40.0	235.0	31.4
セ ネ ガ ル	62.6	7.6	152.3	21.9	232.0	31.0
ス ダ ン	121.0	14.7	93.0	13.4	110.0	14.7
ブ ラ ジ ル	50.1	6.1	37.4	5.4	44.4	5.9
アルゼンチン	46.2	5.6	42.8	6.2	35.1	4.7
E C 諸 国	18.7	2.3	16.0	2.3	14.6	2.0
米 国	56.8	6.9	19.1	2.7	7.0	0.9
そ の 他	72.8	8.9	58.6	8.4	69.9	9.4
計	821.9	100.0	694.0	100.0	748.0	100.0
輸 入 国						
E C 諸 国	422.9	49.1	312.5	44.2	379.7	51.8
ポ ー ラ ン ド	155.5	18.0	144.0	20.4	123.0	16.8
西 独	2.1	0.2	42.0	5.9	69.0	9.4
ソ 連	131.8	15.3	46.6	6.5	30.0	4.1
そ の 他	149.7	17.4	161.2	22.8	131.1	17.9
計	862.0	100.0	706.3	100.0	732.8	100.0

出所：OIL WORLD

のは、世界最大の生産国インドの減産で前年比28%の減産をみており、世界生産に占めるシェアも前年の50%より41%へと落ちたためである。このほか主要生産国の中では米国と中国がそれぞれ生産を落しているが、反面、セネガル、スダン及びブラジルは増産が記録されている。

世界の貿易面では主要輸入国における自国生産の減少から輸出入が拡大されており、82/83年には前年を7.7%上廻る輸出が行なわれている。と

くに毎年世界貿易の半分を取扱っているE.C諸国の生産動向が世界の取引に直接の影響を与えている。輸出国側ではインドが世界最大の輸出を続けているがそのシェアは年々減少している一方セネガルのシェア増大がみられる。

アルゼンチンの粕輸出は前年並みの38千トンであったが過去の実績よりみて極度の減少となっており、輸出先市場もオランダ1国に止まっている。

表 192 落花生(粕)輸出実績 1,000トン

輸出先国	1978	79	80	81	82
オランダ	57.9	117.4	58.3	26.2	38.2
イタリー	—	2.8	3.4	11.7	—
フランス	6.0	34.2	2.7	—	—
西 独	—	10.8	—	—	—
そ の 他	54.0	10.6	14.9	0.1	—
計	117.9	175.8	79.3	38.0	38.2

出所：J. N. G.

#### 4.2.5 オリーブ

オリーブに関する統計はオリーブ油の原料とするもの、食卓用缶詰とするものの2種に分けて統計されており、

その生産量はほぼ7：3の割合である。

表 193 オリーブ：生産推移 トン

年 度	オリーブ油原料	缶詰用	計
73/74	66,270	25,930	92,200
75	61,000	28,000	89,000
76	50,940	28,360	79,300
77	59,000	35,000	94,000
78	48,000	27,000	75,000
79	65,000	30,000	95,000
80	77,000	35,000	112,000
81	69,100	35,500	104,600
82	52,900	35,500	88,400
83	73,500	39,800	113,300

出所：SEAG

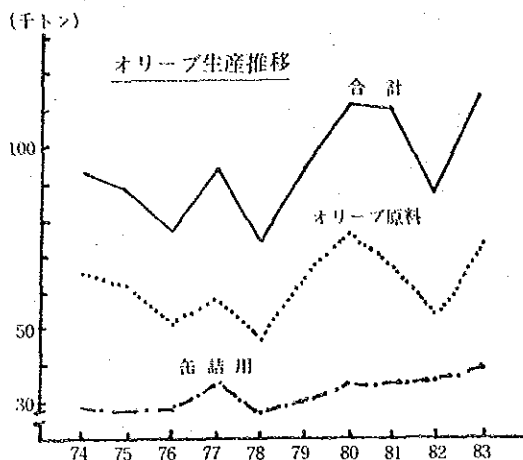
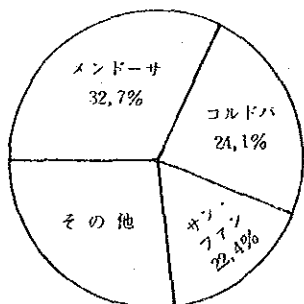


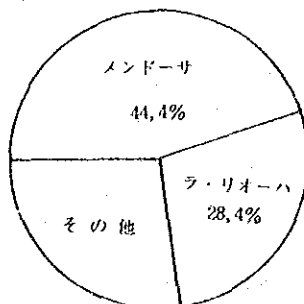
表 194 オリーブ：州別生産実績

州 別	オリーブ油原料 1,000トン					缶詰用 1,000トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
メンドーサ	32.0	42.3	26.7	24.4	24.0	16.0	16.3	17.9	14.5	17.7
コルドバ	7.3	29.7	16.7	2.3	17.7	0.9	5.3	7.1	0.8	1.0
サン・ファン	22.0	1.6	16.6	11.7	16.5	3.0	6.4	4.4	5.1	5.5
ラ・リオハ	1.3	1.0	1.1	4.2	3.8	7.3	4.1	3.3	12.6	11.3
カタマルカ	0.4	0.5	0.5	2.0	1.3	1.4	1.5	1.6	1.2	3.7
エントレ・リオス	1.4	1.4	1.4	—	—	0.2	—	0.1	0.2	0.3
その他	0.6	0.5	6.1	8.3	10.2	1.2	1.4	1.1	1.1	0.3
計	65.0	77.0	69.1	52.9	73.5	30.0	35.0	35.5	35.5	39.8

出所：SEAG



オリーブ：搾油原料生産 82/83



オリーブ：缶詰原料生産 82/83

国内の生産地帯は両品種についてメンドーサ州が大きく、その他の州ではコルドバ州及びサン・ファン州がオリーブ油原料で、またラ・リオハ州が缶詰用原料でメンドーサに次いでいる。

全国生産量は1983年に合計113.3千トンをあげており、最近の10年間では最高の記録となっている。但し、82年度には輸出実績はない。

表 195 オリーブ油輸出実績 トン

輸出先国別	1978	79	80	81	82
ブラジル	8,710	9,392	5,820	8,091	—
イタリー	—	—	3,042	—	—
米 国	113	15	104	—	—
ウルグエイ	34	43	88	76	—
エクアドール	1	15	—	14	—
そ の 他	14	135	694	11	—
計	8,872	9,600	9,748	8,192	—

出所：INDEC

#### 4.2.6 油 桐

油桐はマテ茶と同様の栽培条件を持つため、パラグエイ国のイタプア県に広く栽培されており、アルゼンチンではその対岸のミショーネス州を栽培地帯としている。油桐の実より得られる油は乾燥度が早い特性を持ってい

表 196 油桐：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積	収穫面積	単 収	生産量(実)	生産量(油)
	1,000ha	1,000ha	kg/ha	1,000トン	1,000トン
73/74	52.8	52.8	2,574	136.0	9.3
75	48.5	23.2	2,625	61.0	19.9
76	43.7	24.7	2,231	55.0	16.1
77	52.9	52.0	1,923	100.0	17.9
78	51.7	51.7	1,594	82.4	14.1
79	51.7	51.7	1,128	58.3	9.5
80	51.7	51.7	1,567	81.0	10.5
81	44.0	44.0	1,105	48.6	17.7
82	44.0	44.0	1,830	80.5	※
83	※	※	※	※	※

出所：J. N. G. ※資料なし

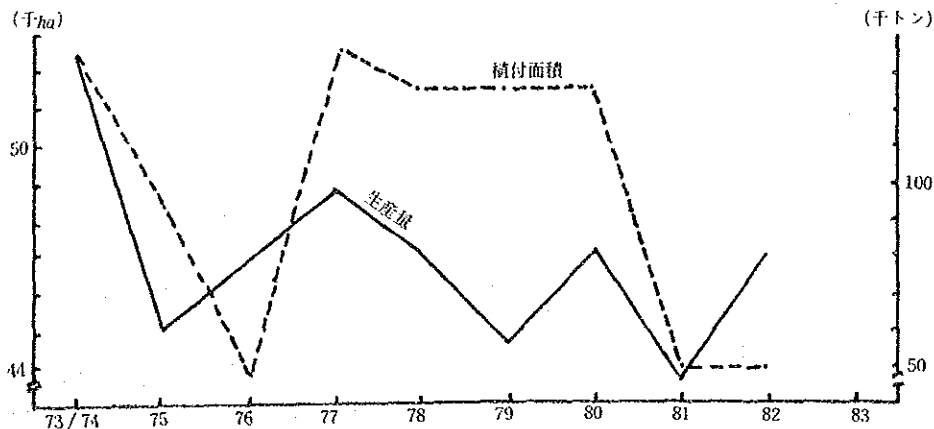


表 197

油桐：州別生産実績

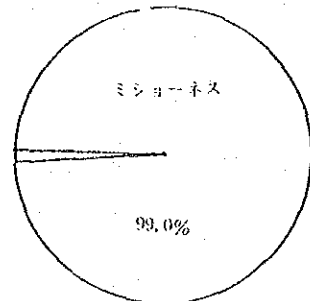
州 別	植付面積 1,000ha					生産量(実) 1,000トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
ミシヨーネス	51.3	51.3	43.6	43.6	※	57.5	80.3	47.9	79.8	※
コリエンテス	0.4	0.4	0.4	0.4		0.7	0.7	0.7	0.7	
計	51.7	51.7	44.0	44.0		58.2	81.0	48.6	80.5	

出所：SEAG ※資料なし

表 198 油桐油：輸出実績 トン

国 別	1978	79	80	81	82
米 国	2,186	2,129	3,390	2,608	3,241
ソ 連	—	3,000	5,293	2,318	2,338
オランダ	7,066	1,970	787	2,372	—
ポーランド	—	703	1,054	1,295	—
日 本	217	1,273	262	605	419
そ の 他	2,631	1,828	1,336	1,287	6,734
計	12,100	10,903	12,122	10,485	12,732

出所：INDEC



油桐：生産量 81/82

るため家具、車輛、船舶、航空機の塗料原料として広く用いられており、外国の需要が継続している。海外市場は米国とソ連が多くを占める。

4.2.7 綿

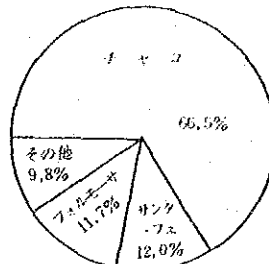
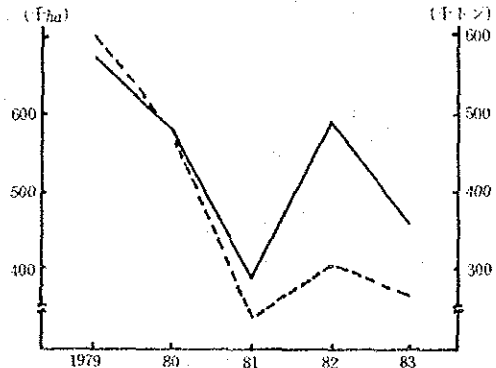
イ) 生産

表 199 綿：過去10年間の生産推移

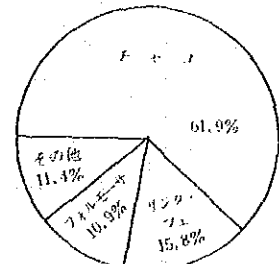
農 年	植付面積 1,000ha	単 収 kg/ha	生産量 1,000トン
1973/74	557.5	883	418.4
74/75	513.2	1,071	541.0
75/76	433.4	1,077	445.0
76/77	543.0	992	514.0
77/78	621.0	1,176	714.0
78/79	702.0	856	572.5
79/80	585.4	855	485.4
80/81	343.0	999	281.8
81/82	403.8	1,299	491.0
82/83	374.3	1,033	355.1

平 均	507.6	1,024	481.8
-----	-------	-------	-------

出所：SEAG



綿：収穫面積 82/83



綿：生産量 82/83

表 200

綿：州別生産実績

州 別	収 穫 面 積 1,000ha					生 産 量 1,000トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
チ ヤ コ	445.5	390.0	231.0	286.3	248.8	374.0	335.0	194.5	360.0	220.0
サ ン タ ・ フ ェ	70.4	65.7	59.5	38.3	45.0	70.0	44.0	35.6	55.0	56.1
フ ォ ル モ ー サ	106.0	80.0	30.6	57.0	44.0	73.5	73.8	28.9	54.7	38.9
サンチャゴ・デル・エステロ	46.3	26.1	8.4	8.4	20.0	30.8	19.5	6.6	10.6	22.0
コ リ エ ン テ ス	19.3	13.5	7.0	6.6	7.1	14.0	6.5	5.1	5.6	6.8
コ ル ド バ	4.3	3.5	0.7	1.5	3.5	3.5	1.5	0.4	1.5	5.0
ミ シ ョ ー ネ ス	5.9	2.9	3.0	4.5	4.5	2.1	2.6	3.0	2.1	4.1
エ ン ト レ ・ リ オ ス	2.1	2.0	1.8	0.4	0.6	1.6	1.5	1.6	0.3	1.1
サ ル タ	0.9	0.8	0.6	0.2	0.1	1.2	0.6	0.6	0.2	0.1
そ の 他	1.3	0.9	0.4	0.6	0.7	1.8	0.4	5.5	1.0	1.0
全 国 計	702.0	585.4	343.0	403.8	374.3	572.5	485.4	281.8	491.0	355.1

出所：SEAG

表 201

綿：主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
チ ヤ コ	853	861	1,009	1,259	928
サ ン タ ・ フ ェ	1,040	733	900	1,482	1,316
フ ォ ル モ ー サ	817	1,040	1,135	1,002	979
サンチャゴ・デル・エステロ	723	747	957	1,265	1,100
コ リ エ ン テ ス	796	500	791	854	1,030
全 国 平 均	856	855	999	1,229	1,003

出所：SEAG

表 202

綿実油：輸出実績

1,000トン

輸出先国	1978	79	80	81	82
エジプト	—	15.5	10.6	6.0	11.8
オランダ	6.6	—	0.8	0.3	2.0
ベネズエラ	4.2	9.2	—	—	—
東 独	1.5	1.0	4.0	3.3	—
そ の 他	4.1	2.2	3.5	0.2	0.2
計	16.4	27.9	18.9	9.8	14.0

出所：J. N. G.

表 203

綿実粕：輸出実績

1,000トン

輸出先国	1978	79	80	81	82
デンマーク	97.8	105.4	98.1	40.2	64.8
オランダ	21.6	24.7	3.0	1.8	4.0
西 独	24.1	15.2	1.6	7.2	1.0
そ の 他	—	—	9.0	15.1	—
計	143.5	145.3	111.7	64.3	69.8

出所：J. N. G.

4.3 工業原料作物

4.3.1 砂糖キビ

アルゼンチンは全体的に緯度が低く亜熱帯の気候条件を持つ地帯が少ないため、砂糖キビの栽培適地は限定されており、ツクマン州、北部地方（サルタ及びフイ州）と河川沿岸地帯（チャコ、サンタ・フェ及びミシヨーンネス）の三地帯に限られる。中でも代表的な生産地帯はツクマン州で全国栽培面積の71.5%がここに集中し、全国砂糖キビ生産量の62.7%を生産する。

しかしながら単収からみると北部

表 204 砂糖キビ：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 1,000ha	収 穫 率 %	収穫面積 1,000ha	単 収 トン/ha	生 産 量 1,000トン
1973/74	350.4	85.1	298.1	52.1	15,536.0
74/75	348.0	84.3	293.2	53.2	15,600.0
75/76	350.8	96.7	339.0	42.2	14,310.0
76/77	360.0	97.2	350.1	45.7	16,000.0
77/78	356.0	90.5	322.2	42.2	13,600.0
78/79	350.6	97.0	340.2	41.5	14,120.0
79/80	337.4	93.0	313.8	54.8	17,200.0
80/81	351.3	91.0	319.5	48.5	15,500.0
81/82	349.5	88.2	308.3	48.8	15,046.0
82/83	348.0	89.1	310.0	48.8	15,129.0

平 均	350.2	91.2	319.4	47.8	15,204.0
-----	-------	------	-------	------	----------

出所：

地方にあるフイ州とサルタ州の単収が高く、とくにフイ州における80トン前後の単収は高い水準である。

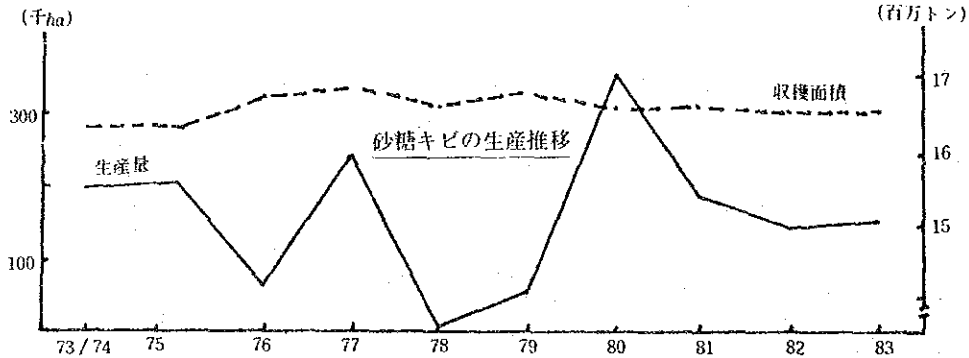


表 205

砂糖キビ：州別生産実績

州 別	収 穫 面 積 ha					生 産 量 1,000トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
ツクマン	255,952	218,750	232,409	220,069	221,728	8,600.0	10,500.0	9,645.0	9,529.0	9,490.0
フイ	43,750	48,602	47,177	44,283	44,314	3,500.0	4,000.0	3,694.0	3,370.0	3,465.4
サルタ	18,766	23,009	22,288	20,987	21,000	1,400.0	1,850.0	1,515.6	1,488.0	1,407.0
サンタ・フェ	15,054	16,000	15,000	15,000	13,500	414.0	560.0	600.0	420.0	472.5
ミシヨーンネス	4,137	2,170	3,403	4,643	5,193	96.0	84.0	107.2	150.0	166.7
チャコ	4,070	5,494	3,300	3,252	3,797	104.2	200.0	110.9	81.3	120.0
コリエンテス	261	209	219	235	233	5.3	5.6	6.2	6.7	6.3
フォルモーサ	28	20	79	64	61	0.5	0.4	1.1	1.0	1.0
計	340,240	313,868	319,587	308,319	310,020	14,120.0	17,200.0	15,500.0	15,046.0	15,129.0

出所：

表 206 砂糖キビ：単収 トン/ha

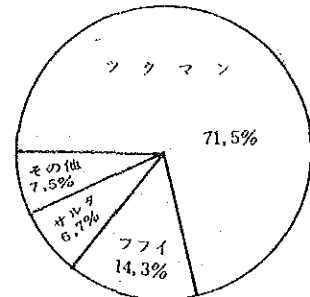
州 別	1979	80	81	82	83
ツクマン	33.6	48.0	41.5	43.3	42.8
フフイ	80.0	82.3	78.3	76.1	78.2
サルタ	74.6	80.4	68.0	70.9	67.0
サンタ・フェ	27.5	35.0	40.0	28.0	35.0
ミシオーネス	23.2	38.7	31.5	32.3	32.1
チャコ	25.6	36.4	33.6	25.0	31.6
全国平均	41.5	54.8	48.5	48.8	48.8

出所：

表 207 製糖工場数と能力

州 別	工場数	1日当り能力(トン)	製糖歩留り%
ツクマン	16	78,570	10.00
フフイ	3	22,510	11.34
サルタ	2	9,765	10.88
河川沿岸	4	5,743	10.56
計	25	116,588	10.42

出所：EL AZUCAR ARGENTINO 1983.



砂糖キビ：収穫面積 82 / 83

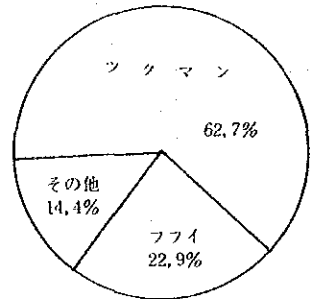


表 208 砂糖：地方別消費比率 %

地 方 別	79 / 80	80 / 81	81 / 82	82 / 83	平均
ブエノス・アイレス連邦区	52.7	52.0	51.6	49.3	51.72
中央、ヨーフ地方	17.7	16.9	17.5	17.5	17.46
沿岸地方	16.5	16.6	16.7	16.8	16.54
東北地方	12.3	13.7	13.6	15.7	13.54
パタゴニヤ地方	0.8	0.8	0.6	0.7	0.74
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.00

出所：EL AZUCAR ARGENTINA EN CIFRAS

収穫された砂糖キビを搬入して加工する製糖工場は全国に25ヶ所あり、次の通り分布している。各工場の能力を示した表207にもとづくと、製糖期間中には1日当り約12千トンの砂糖が生産されることになる。原料生産は大半が個々の農家によって行なわれており、工場直営形態は減少しつつある。たとえばツクマン州の場合、1922年頃には工場が処理した原料の62%は直営農場によっていたが、1981年の統計ではその比率が16.5%に減少している。

アルゼンチンで製造される砂糖の市場も国内市場と海外市場に分けられる。

国内市場は国内人口の増加率(年間1.7%)と消費者の所得水準に応じてその需要量が増減する。現在までのところ地域別の消費量は安定しているが、天然及び合成の代替品が市場に現われているため砂糖価格に影響するとして、代替品の規制を行なうべきだとの意見が出ている。

海外市場については、多国間又は2国間の協定にもとづく輸出と協定外輸出の二つの方法で行なわれるが、アルゼンチンの場合には国内消費に廻した残余の少量が輸出される程度で大きな役割を果たしていない。

4.32 フォルミオ

表 209 フォルミオ：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 ha	収 穫 率 %	収穫面積 ha	単 収 kg/ha	生 産 量 トン
1973/74	3,500	22.8	800	60,000	48,000
74/75	3,300	24.2	800	60,000	48,000
75/76	3,200	31.2	1,000	60,000	60,000
76/77	3,000	33.3	1,000	60,000	60,000
77/78	2,500	35.6	890	55,556	50,000
78/79	3,000	23.3	700	60,000	42,000
79/80	3,000	23.3	700	62,000	43,400
80/81	1,200	25.0	300	60,000	18,000
81/82	1,100	24.5	270	60,000	16,200
82/83	1,100	23.6	260	63,000	17,000

平 均	2,490	27.0	672	60,005	40,260
-----	-------	------	-----	--------	--------

出所：

表 210 フォルミオ：州別生産実績

州 別	収 穫 面 積 ha					生 産 量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
ブエノス・アイレス	700	700	300	270	260	42,000	43,400	18,000	16,200	17,000
計	700	700	300	270	260	42,000	43,400	18,000	16,200	17,000

出所：

表 211 フォルミオ：単収 kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
ブエノス・アイレス	60,000	62,000	60,000	60,000	63,000

出所：

4.3.3 ぶどう

表 214 ぶどう：単収 kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
メンドーサ	7,900	9,024	7,293	10,141	10,139
サン・ファン	13,120	13,810	14,575	17,279	16,044
リオ・ネグロ	6,201	3,186	1,779	6,032	7,830
ラ・リオーハ	7,003	8,823	8,971	9,788	10,106
カタマルカ	11,301	12,821	13,846	13,595	13,279
全 国 平 均	9,100	9,615	8,434	11,230	11,134

出所：SEAC



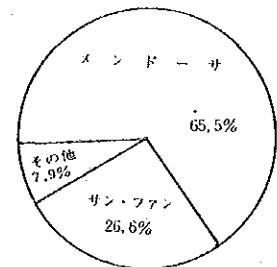
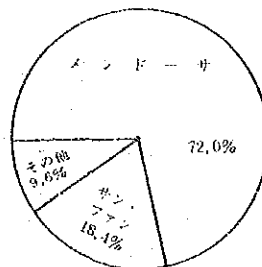
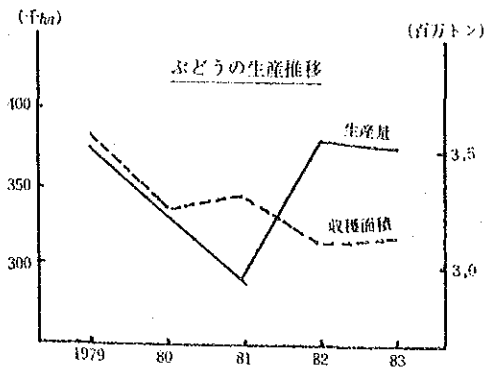


表 213

ぶどう：州別生産実績

州 別	収穫面積 1,000ha					生産量 1,000トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
メンドーサ	293.0	246.0	249.8	229.0	229.8	2,315.0	2,220.0	1,822.0	2,322.7	2,330.0
サン・ファン	68.9	60.1	65.1	57.8	58.9	904.0	830.0	949.0	1,000.0	945.0
リオ・ネグロ	16.7	14.7	11.3	14.4	13.1	104.0	47.0	20.2	87.0	103.0
ラ・リオール	7.2	6.8	6.9	8.5	8.4	51.0	60.0	61.9	83.2	85.9
カタマルカ	4.2	3.8	3.9	3.3	3.4	48.0	50.0	54.0	45.0	46.0
コルドバ	3.1	2.2	2.4	2.3	2.4	9.7	6.5	6.6	8.5	14.9
サルタ	2.0	1.6	1.1	1.2	1.3	24.0	20.0	9.0	12.7	13.9
サン・ルイス	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	6.6	3.3	6.7	6.9	6.9
ネウケン	1.1	0.5	0.1	0.2	0.3	4.9	1.9	0.5	2.5	3.0
ブエノス・アイレス	2.3	0.8	0.7	0.4	0.4	26.0	7.0	6.0	2.2	2.4
その他	—	1.1	6.8	0.4	0.8	6.8	4.3	4.1	0.3	4.0
計	384.6	338.0	348.5	317.9	319.2	3,500.0	3,250.0	2,940.0	3,571.0	3,555.0

出所：SEAG

表 212

ぶどう：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 1,000ha	収穫率 %	収穫面積 1,000ha	単 収 kg/ha	生 産 量 1,000トン
1973/74	325.2	95.3	309.9	11,381	3,528.0
74/75	342.3	96.7	331.1	9,360	3,100.0
75/76	342.5	99.0	339.1	11,088	3,760.0
76/77	343.0	99.3	340.6	9,980	3,400.0
77/78	343.0	99.4	341.0	8,211	2,800.0
78/79	342.0	—	384.6	9,100	3,500.0
79/80	341.0	99.1	338.0	9,615	3,250.0
80/81	324.0	—	348.5	8,434	2,940.0
81/82	323.2	98.4	317.9	11,230	3,571.0
82/83	323.1	98.8	319.2	11,134	3,555.0

出所：SEAG

#### 4.3.4 ホップ

表 214-a ホップ：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 (ha)	収穫面積 (ha)	単 収 (kg/ha)	生 産 量 (トン)
1973/74	330	320	894	295
/75	314	280	720	203
/76	345	340	499	172
77	340	340	761	260
78	320	320	781	250
79	320	290	780	227
80	295	190	872	170
81	210	160	824	140
82	230	200	829	170
83	237	210	776	163

出所：SEAG

ビール原料としての本格的栽培は1935年頃よりブエノス・アイレス州において開始されたあと気象条件が適するリオ・ネグロ方面に移動し定着している。

現在国内の生産地帯はネウケン州に集中し、全国生産の90%がここに栽培されている。

ホップの国内需要に対しては半分を供給する量に過ぎない。

#### 4.4 野菜類

##### 4.4.1 えんどう豆

表 215 えんどう豆：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 kg/ha	生 産 量 トン
1973/74	12,800	94.3	12,070	2,601	31,400
74/75	14,600	94.1	13,740	2,489	34,200
75/76	21,500	96.6	20,770	4,049	84,100
76/77	24,620	47.2	11,620	4,414	51,300
77/78	18,300	88.0	16,090	2,112	34,000
78/79	17,000	94.0	15,990	2,188	35,000
79/80	14,200	96.8	13,740	3,564	49,000
80/81	11,300	97.3	11,000	3,236	35,600
81/82	8,900	99.9	8,890	3,124	27,800
82/83	※	※	※	※	※

出所：

※資料なし

表 216

## えんどう豆 (ARVEJA) : 州別生産実績

州 別	収 穫 面 積 ha					生 産 量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
ブエノス・アイレス	9,280	7,500	4,700	3,100		15,500	26,500	13,800	9,800	
ツクマン	2,170	1,490	1,520	1,620		8,500	5,500	5,800	6,090	
サンタ・フェ	2,000	2,200	2,370	2,250		2,400	8,800	8,300	5,400	
サンチャゴ・デル・エステロ	330	340	340	340		1,000	1,200	1,100	1,180	
フフイ	280	230	250	250		1,140	1,000	1,070	1,000	
メンドーサ	300	340	360	270	*	1,900	1,150	1,160	930	*
コリエンテス	640	670	480	380		900	1,000	560	740	
カタマルカ	140	110	110	130		940	750	760	600	
サルタ	130	110	120	120		540	500	480	480	
サン・フアン	190	150	160	50		750	650	640	228	
リオ・ネグロ	70	90	50	30		400	500	320	207	
その他	460	518	540	350		1,030	1,450	1,610	1,145	
計	15,990	13,740	11,000	8,890		35,000	49,000	35,600	27,800	

出所： ※資料なし

表 217 えんどう豆：単収 kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
ブエノス・アイレス	1,670	3,533	2,936	3,161	
ツクマン	3,917	3,667	3,796	3,748	
サンタ・フェ	1,200	4,000	3,502	2,400	*
サンチャゴ・デル・エステロ	2,994	3,429	3,235	3,420	
フフイ	4,071	4,167	4,280	4,000	
全国平均	2,188	3,564	3,236	3,124	

## 4.4.2 レンズ豆

出所： ※資料なし

表 218 レンズ豆：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 kg/ha	生産量 トン
1973/74	9,000	91.1	8,200	829	6,800
74/75	8,350	97.5	8,140	1,588	12,940
75/76	8,730	98.7	8,620	1,801	15,540
76/77	29,700	96.6	28,690	1,433	41,400
77/78	82,000	66.3	54,340	736	40,000
78/79	46,000	47.4	21,790	569	12,400
79/80	31,600	72.8	23,010	730	16,800
80/81	23,800	92.7	22,060	606	13,370
81/82	14,800	94.5	13,990	993	13,900
82/83	*	*	*	*	*

出所：SEAG ※資料なし。

表 219

## レンズ豆 (LENTEJA) 州別生産実績

州 別	収 穫 面 積 ha					生 産 量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
サンタ・フェ	15,000	17,390	20,010	12,500		6,300	10,400	11,550	12,500	
ブエノス・アイレス	6,190	5,000	1,700	1,300	※	5,800	6,000	1,600	1,300	※
コルドバ	200	300	200	100		130	210	120	50	
ツクマン	280	100	140	100		170	80	100	50	
計	21,670	22,790	22,050	14,000		12,400	16,690	13,370	13,900	

出所：SEAG ※資料なし。

表 220 レンズ豆：単収 kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
サンタ・フェ	420	598	577	1,000	
ブエノス・アイレス	936	1,200	941	1,000	
コルドバ	650	700	600	500	
ツクマン	600	800	667	500	
全国平均	569	730	606	993	

出所：SEAG

## 4.4.3 ポロット豆

表 221 ポロット豆：過去10年間の生産推移(乾燥豆)

農 年	植付面積 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 kg/ha	生産量 トン
1973/74	109,400	98.7	107,950	1,068	115,300
74/75	150,830	91.1	137,420	791	108,700
75/76	150,700	97.5	146,980	1,160	170,500
76/77	185,000	86.8	160,620	965	155,000
77/78	154,000	88.3	135,990	978	133,000
78/79	236,000	98.0	231,290	1,016	235,000
79/80	243,000	84.4	205,050	712	146,000
80/81	221,800	95.3	211,320	1,060	224,000
81/82	235,500	97.5	229,650	1,106	254,000
82/83	241,300	※	※	※	※

出所：SEAG ※資料なし。

表 222

## ポロット豆：州別生産実績(乾燥豆)

州 別	収 穫 面 積 ha					生 産 量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
サ ル タ	153,260	141,150	128,290	151,000		143,000	98,100	125,600	157,800	
サンチャゴ・デル・エステロ	36,000	34,900	36,960	39,300		48,000	22,200	49,900	59,000	
ツ ク マ ン	25,000	8,000	23,960	15,810		27,300	6,000	25,400	16,500	
フ フ イ	5,600	10,190	8,990	7,000		6,000	9,400	9,700	7,100	
コ ル ド バ	6,690	4,150	5,000	4,900		7,000	4,400	5,000	5,400	
メ ン ド ー サ	200	150	1,390	1,600	*	230	140	2,000	2,600	*
ミ シ オ ー ネ ス	2,300	3,360	3,200	3,190		1,040	3,200	2,740	2,470	
カ タ マ ル カ	1,700	2,500	3,200	2,400		1,700	1,900	3,200	2,400	
フ ォ ル モ ー ザ	290	280	160	250		380	420	220	400	
サ ン ・ フ ァ ン	140	110	60	150		220	100	114	270	
そ の 他	110	255	110	4,050		130	140	126	60	
計	231,290	205,050	211,320	229,650		235,000	146,000	224,000	254,000	

出所：SEAG

※資料なし。

表 223

## ポロット豆：主要生産地の単収(乾燥豆)

kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
サ ル タ	933	695	979	1,045	
サンチャゴ・デル・エステロ	1,333	636	1,350	1,501	
ツ ク マ ン	1,092	750	1,060	1,043	*
フ フ イ	1,071	922	1,078	1,014	
コ ル ド バ	1,045	1,060	1,000	1,102	
全 国 平 均	1,016	712	1,060	1,106	

出所：SEAG

※資料なし

表 224

## ポロット豆：輸出実績(乾燥豆)

1,000トン

輸 出 先 国	1978	79	80	81	82
アルジェリア	—	18.1	—	6.5	20.7
イタリヤ	18.4	25.9	17.8	17.6	20.6
オランダ	24.0	22.1	19.4	16.3	20.1
キューバ	10.2	7.7	19.4	24.4	14.3
ベネズエラ	5.2	7.0	3.1	22.2	12.4
スペイン	8.7	6.0	2.4	5.0	12.7
フランス	11.6	12.0	7.4	6.7	8.0
ジョルダン	—	—	10.9	—	6.0
イラク	—	26.1	0.3	—	5.2
イスラエル	14.5	6.1	3.5	1.5	3.9
ブラジル	6.4	6.6	27.0	2.8	3.2
日 本	—	—	—	0.3	1.6
そ の 他	55.8	38.8	60.2	21.0	21.9
計	154.8	176.4	171.4	124.3	150.6

出所：J. N. G.

表 225 ポロット豆：単収(青えんどう) kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
ブエノス・アイレス	11,500	13,444	13,257	17,411	15,586
ツクマン	6,027	10,140	10,200	6,228	6,228
サルタ	6,429	7,941	7,892	7,925	7,949
メンドーサ	7,568	8,293	7,906	6,625	6,545
コルドバ	3,692	3,062	3,630	3,582	3,854
全国平均	7,738	8,000	7,905	9,256	8,659

出所：

表 226 ポロット豆：過去10年間の生産実績(青えんどう)

年 度	植付面積 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 kg/ha	生産量 トン
1973/74	5,350	96.6	5,170	7,814	40,400
74/75	4,760	98.3	4,680	8,337	39,100
75/76	4,100	89.2	3,660	7,602	27,890
76/77	3,633	95.5	3,470	8,162	28,331
77/78	3,100	96.8	3,000	8,300	24,900
78/79	3,100	98.1	3,040	7,738	23,600
79/80	4,000	97.5	3,900	8,000	31,200
80/81	4,060	—	4,220	7,905	33,400
81/82	4,200	99.3	4,170	9,256	38,600
82/83	4,500	97.8	4,400	8,659	38,100
平均	4,080	97.3	3,971	8,177	32,552

出所：SEAG

表 227 ポロット豆：州別生産実績(青えんどう)

州 別	収 穫 面 積 1,000ha					生 産 量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
ブエノス・アイレス	1,000	900	1,090	1,110	1,180	11,500	12,100	14,500	19,500	18,500
ツクマン	730	840	900	1,440	1,430	4,400	8,600	9,200	9,030	8,950
サルタ	130	340	360	400	380	900	2,700	2,870	3,170	3,100
メンドーサ	360	400	340	400	360	2,800	3,400	2,700	2,650	2,415
コルドバ	130	140	120	130	270	480	447	460	480	1,060
サンタ・フェ	310	290	310	300	280	1,300	1,250	1,260	1,200	1,030
フフイ	220	210	230	250	250	1,280	1,640	1,650	1,900	1,910
サン・ファン	30	40	40	20	110	160	180	170	137	621
コリエンテス	40	40	30	40	50	220	260	180	230	290
リオ・ネグロ	50	60	30	20	20	490	530	300	220	155
そ の 他	40	640	770	60	70	70	93	110	83	69
計	3,040	3,900	4,220	4,170	4,400	23,600	31,200	33,400	38,600	38,100

出所：SEAG

4.4.4 ピーマン

表 228 ピーマン：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 kg/ha	生産量 トン
1973/74	3,350	83.2	2,990	829	2,480
74/75	3,440	92.7	3,190	1,094	3,500
75/76	5,050	99.4	5,020	1,169	5,880
76/77	4,830	98.9	4,780	1,182	5,650
77/78	4,800	87.3	4,190	1,191	5,000
78/79	4,000	98.0	3,920	1,069	4,200
79/80	3,000	95.3	2,860	979	2,800
80/81	1,480	98.0	1,450	1,124	1,630
81/82	1,350	95.5	1,290	1,104	1,430
82/83	1,940	95.4	1,850	1,027	1,910
平 均	3,324	94.9	3,154	1,077	3,448

出所：SEAG

表 229

ピーマン：州別生産実績

州 別	収 穫 面 積 ha					生 産 量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
サルタ	2,800	1,730	1,010	450	1,100	3,100	1,800	1,140	442	1,230
カタマルカ	880	850	230	640	530	880	790	283	790	430
コルドバ	20	50	30	60	90	15	30	47	70	130
ツクマン	100	110	130	120	110	110	100	136	120	100
サン・ファン	110	100	30	10	20	95	80	24	8	50
計	3,920	2,860	1,450	1,290	1,850	4,200	2,800	1,630	1,430	1,910

出所：SEAG

表 230 ピーマン：単収 kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
サルタ	1,107	1,035	1,118	961	1,118
カタマルカ	989	919	1,194	1,234	811
コルドバ	750	600	1,424	1,077	1,444
ツクマン	1,100	909	1,046	1,000	870
サン・ファン	792	800	800	800	800
全国平均	1,069	979	1,124	1,104	1,027

出所：SEAG

4.4.5 さつまいも

表 231 さつまいも：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 1,000 ha	収穫率 %	収穫面積 1,000 ha	単 収 kg / ha	生産量 1,000トン
1973 / 74	44.9	72.8	32.7	8,988	294.8
74 / 75	42.7	95.8	40.9	10,208	418.0
75 / 76	39.5	95.4	37.7	9,211	348.0
76 / 77	37.0	97.0	35.9	9,167	330.0
77 / 78	35.0	96.8	33.9	9,412	320.0
78 / 79	34.5	97.7	33.7	9,527	322.0
79 / 80	34.0	98.8	33.6	8,988	302.0
80 / 81	44.1	66.6	22.7	1,107	246.6
81 / 82	32.0	99.7	31.9	11,536	368.0
82 / 83	30.1	95.7	28.8	11,197	322.8
平均	36.4	91.2	33.2	8,934	327.2

出所：SEAG

表 232

さつまいも：州別生産実績

州 別	収 穫 面 積 1,000 ha					生 産 量 1,000トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
サンチャゴ・デル・エステロ	14.9	13.3	4.4	13.3	13.3	142.9	118.6	89.5	118.4	118.7
ブエノス・アイレス	8.2	6.2	6.8	8.3	4.9	73.0	50.0	58.0	135.0	86.6
コ ル ド バ	1.9	5.0	4.8	1.9	3.0	26.0	48.7	75.4	34.2	44.5
ツ ク マ ン	2.4	2.5	2.4	2.8	3.3	33.0	30.6	31.3	35.3	41.5
フ ォ ル モ ー サ	1.4	2.0	1.5	1.2	1.6	13.0	20.0	14.7	10.7	12.0
サ ン タ ・ フ ェ	0.5	0.6	0.6	0.5	0.6	7.0	7.1	7.4	6.7	6.5
コ リ エ ン テ ス	2.7	2.2	2.1	1.9	0.7	17.0	14.4	11.5	15.3	4.0
ミ シ オ ー ネ ス	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	1.7	2.1	2.3	2.4	3.0
チ ャ コ	0.5	0.6	0.3	0.6	0.2	3.0	6.2	2.1	5.3	1.9
メ ン ド ー サ	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	2.2	1.6	1.4	1.7	1.3
そ の 他	0.8	0.8	0.4	0.9	0.7	3.2	2.7	3.0	3.0	2.8
計	33.7	33.6	23.7	31.9	28.8	322.0	302.0	246.6	360.0	322.8

出所：SEAG

表 233

さつまいも：主要生産州の単収

kg / ha

州 別	1979	80	81	82	83
サンチャゴ・デル・エステロ	9,530	8,917	8,977	8,822	8,891
ブエノス・アイレス	8,902	8,064	8,406	16,261	17,633
コ ル ド バ	13,684	9,740	15,388	17,449	14,784
ツ ク マ ン	13,750	11,792	13,039	12,386	12,462
フ ォ ル モ ー サ	8,667	10,000	9,188	8,231	7,500
全国平均	9,527	8,988	1,107	11,536	11,193

出所：SEAG

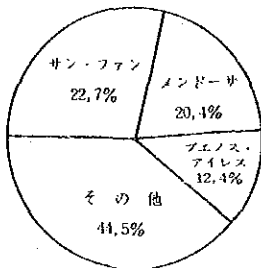


4.4.6 玉ねぎ

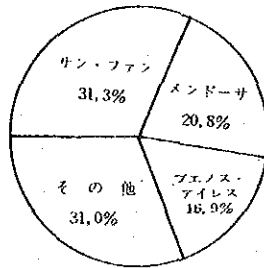
表 234 玉ねぎ：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 1,000 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 トン/ha	生産量 1,000トン
1973/74	18.8	93.3	17,546	16.3	286.0
74/75	17.2	96.7	16,633	19.9	331.0
75/76	16.6	86.4	14,341	20.2	289.7
76/77	8.6	97.7	8,309	20.7	172.0
77/78	16.3	96.6	15,748	16.7	263.0
78/79	17.6	96.0	16,881	16.0	270.1
79/80	17.6	98.0	17,254	16.1	277.8
80/81	12.4	91.0	11,286	17.1	193.0
81/82	14.8	93.2	13,790	17.2	237.2
82/83	15.6	100.0	15,631	19.0	297.0
平均	15.5	95.1	14,741	18.0	261.7

出所：SEAG



玉ねぎ：収穫面積 82/83



玉ねぎ：生産量 82/83

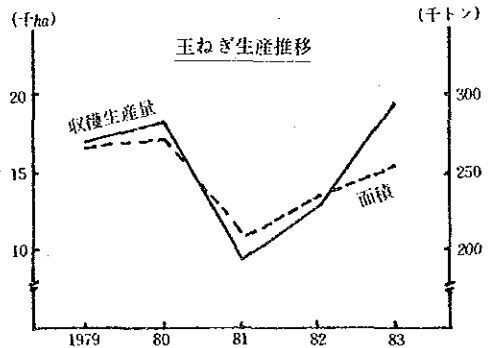


表 235

玉ねぎ：州別生産実績

州 別	収 穫 面 積 ha					生 産 量 1,000トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
サン・ファン	2,911	3,225	2,178	3,189	3,496	69.0	90.0	56.0	72.4	93.0
メンドーサ	2,800	2,695	1,760	2,896	3,131	56.0	55.8	34.5	59.0	62.0
フェノス・アイレス	1,732	2,296	1,432	1,795	1,901	22.0	28.7	28.8	23.7	50.2
コルドバ	563	500	429	525	469	15.0	7.4	10.1	17.5	11.4
リオ・ネグロ	436	453	276	299	459	9.0	9.7	3.7	5.3	10.7
サルタ	140	430	509	411	451	2.8	8.3	8.3	6.7	7.4
カタマルカ	246	260	283	306	335	3.7	4.4	4.7	5.2	6.0
フォルモーサ	360	397	444	447	400	2.7	2.9	2.0	3.0	2.8
ネウケン	185	148	73	87	65	3.0	2.9	1.1	1.5	1.4
その他	7,508	6,850	2,902	3,836	4,654	86.9	67.7	43.8	42.9	52.1
計	16,881	17,254	11,286	13,790	15,361	270.1	277.8	193.0	237.2	297.0

出所：SEAG

表 236 玉ねぎ：単収 トン/ha

州 別	1979	80	81	82	83
サン・フアン	23.7	27.7	25.7	22.7	26.6
メンドーサ	20.0	20.7	19.6	20.4	19.8
フエノス・アイレス	12.7	12.5	20.1	13.2	26.4
コルドバ	26.6	14.8	23.5	33.3	24.3
リオ・ネグロ	20.6	21.4	13.4	17.7	23.3
全国平均	16.0	16.1	17.1	17.2	19.0

出所：SEAG

表 237 玉ねぎ：輸出実績

輸出先国	1978	79	80	81	82
ウルグアイ	3.3	2.9	1.2	1.4	6.3
パラグアイ	—	—	—	—	4.2
西 独	—	0.1	—	—	0.4
ブラジル	7.9	—	—	—	0.2
オランダ	2.6	—	—	—	—
そ の 他	—	—	0.3	0.2	0.1
計	13.8	3.0	1.5	1.6	11.2

出所：INDEC

#### 4.4.7 トマト

表 238 トマト：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 トン/ha	生産量 1,000トン
1973/74	37,050	92.2	34,153	18.9	645.5
74/75	35,950	92.7	33,344	18.3	610.2
75/76	34,080	78.7	26,808	18.3	490.6
76/77	32,210	90.8	29,258	18.2	532.5
77/78	32,800	92.1	30,210	19.0	574.0
78/79	31,000	91.3	28,307	19.5	552.0
79/80	30,900	93.5	28,888	18.9	546.0
80/81	23,400	80.7	18,883	19.7	372.0
81/82	29,800	92.0	27,401	20.9	572.7
82/83	31,500	42.8	13,474	44.9	605.0
平 均	31,869	85.0	27,072	21.7	550.0

出所：SEAG

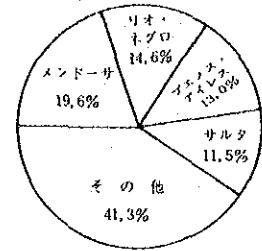
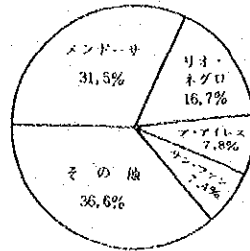
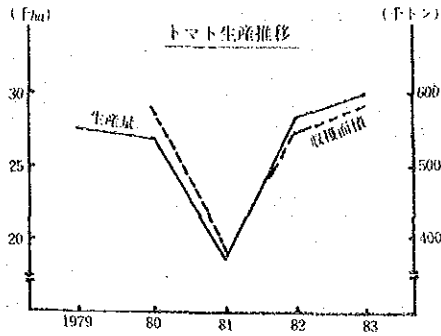


表 239

トマト：州別生産実績

州 別	収 穫 面 積 ha					生 産 量 1,000トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
メンドーサ	7,054	6,287	3,366	8,982	9,083	103.0	83.0	46.8	150.0	119.0
リオ・ネグロ	5,365	5,172	3,174	4,162	4,836	67.6	60.0	40.0	89.9	88.5
ブエノス・アイレス	2,738	2,700	2,509	2,630	2,252	89.0	81.0	81.3	90.5	78.6
サルタ	2,809	2,198	1,737	1,941	1,660	62.1	58.7	37.7	42.9	69.4
サン・ファン	1,553	1,100	979	1,600	2,148	32.0	24.0	18.8	33.6	41.9
コリエンテス	1,112	2,098	767	519	1,292	26.7	49.1	17.2	10.5	36.2
サンタ・フェ	712	530	720	709	860	25.0	20.0	27.0	27.1	34.4
フフイ	2,161	1,447	1,176	1,149	642	48.2	40.1	27.3	26.1	25.7
コルドバ	196	600	720	528	480	4.9	12.5	14.4	8.4	9.9
ラ・リオハ	439	568	429	400	382	9.0	12.0	8.5	8.6	7.2
カタマルカ	286	398	333	402	370	3.9	5.7	4.8	5.6	5.6
その他	3,882	5,790	2,973	4,379	4,841	80.6	99.9	48.2	79.5	88.6
計	28,307	28,888	18,883	27,401	28,846	552.0	546.0	372.0	572.7	605.0

表 240

トマト：主要生産地の単収

Ton/ha

州 別	1979	80	81	82	83
メンドーサ	14.6	13.2	13.9	16.7	13.1
リオ・ネグロ	12.6	11.6	12.6	21.6	18.3
ブエノス・アイレス	32.5	30.0	32.4	34.4	34.9
サルタ	22.1	26.7	21.7	22.1	41.8
サン・ファン	20.6	21.8	19.2	21.0	19.5
コリエンテス	24.0	23.4	22.4	20.2	28.0
全 国 平 均	19.5	18.9	19.7	20.9	44.9

出所：

4.4.8 ニンニク

表 241 ニンニク：過去10年間の生産推移

農年	植付面積 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単収 kg/ha	生産量 トン
1973/74	13,100	98.5	12,900	5,186	66,900
74/75	13,300	99.5	13,240	5,113	67,700
75/76	13,700	98.8	13,540	5,063	68,600
76/77	14,600	99.2	14,490	5,035	73,000
77/78	17,000	100.0	17,000	4,647	79,000
78/79	17,700	95.0	16,800	4,821	81,000
79/80	18,800	99.5	18,700	5,080	95,000
80/81	14,600	98.5	14,380	4,797	69,000
81/82	7,200	100.0	7,200	5,236	37,700
82/83	8,600	99.9	8,590	5,596	48,100
平均	13,860	98.7	13,684	5,057	68,600

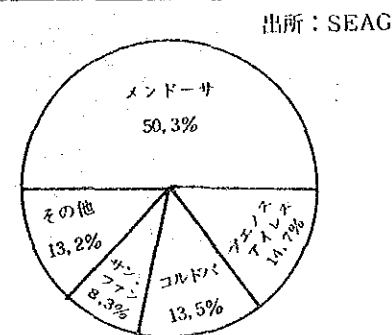
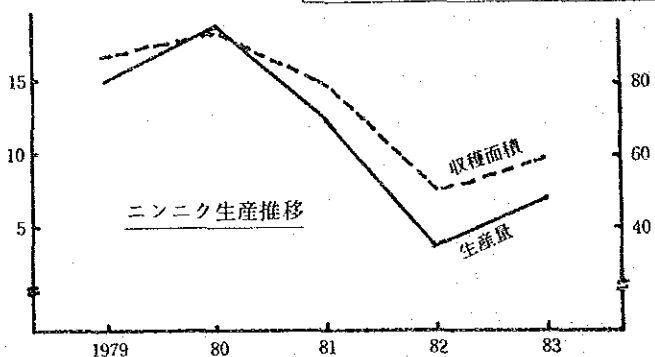


表 242 ニンニク：州別生産実績

州別	収穫面積 ha					生産量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
メンドーサ	3,600	5,990	4,570	3,090	3,690	23,700	37,000	25,000	18,900	24,200
ブエノス・アイレス	8,000	8,890	6,730	1,600	1,620	40,000	41,000	31,000	6,800	7,100
コルドバ	1,120	1,120	650	500	980	3,150	5,300	3,360	3,500	6,500
サン・ファン	1,090	650	500	370	670	5,700	3,900	2,000	2,200	4,000
サンチャゴ・デル・エステロ	500	510	510	500	500	1,700	1,800	1,900	1,780	1,770
サンタ・ルイス	170	200	170	180	180	1,200	1,000	1,200	1,280	1,380
フフイ	200	220	210	120	120	880	1,000	860	550	549
サルタ	270	200	140	80	80	1,200	850	640	350	352
サンタ・フェ	60	50	50	30	30	350	300	290	300	240
リオ・ネグロ	130	100	80	40	20	700	490	450	233	157
チエブ	110	130	120	40	—	640	580	560	180	—
その他	—	600	560	660	610	1,780	1,780	1,740	1,627	1,852
計	16,800	18,700	14,380	7,200	8,590	81,000	95,000	69,000	37,700	48,100

出所：SEAG

表 243 ニンニク：主要生産地の単収 kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
メンドーサ	6,583	6,167	5,464	6,067	6,541
ブレノス・アイレス	4,994	4,607	4,605	4,224	4,356
コルドバ	2,807	4,711	5,122	7,000	6,566
サン・ファン	5,182	6,000	3,937	5,914	5,926
サンチャゴ・デル・エステロ	3,400	3,529	3,725	3,511	3,491
サンタ・ルイス	6,667	5,000	6,780	6,995	7,541
全 国 平 均	4,821	5,080	4,797	5,236	5,596

出所：SEAG

表 244 ニンニク：輸出実績 1,000トン

輸 出 先 国	1978	79	80	81	82
ブラジル	19.6	23.6	19.5	14.1	9.9
フランス	2.8	2.4	3.6	2.9	3.5
イタリア	—	0.2	0.2	0.3	0.6
プエルト・リコ	0.2	0.2	—	0.4	0.5
ベルギー	—	—	—	—	0.2
ウルグァイ	—	—	—	0.1	0.2
そ の 他	1.6	6.3	1.0	1.2	1.3
計	24.2	32.7	24.3	19.0	16.2

出所：INDEC

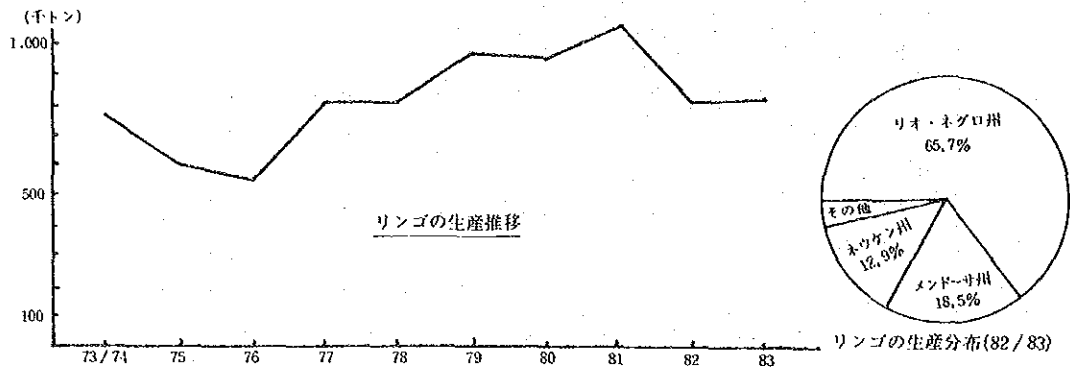
#### 4.5 果 実

##### 4.5.1 リンゴ

表 245 リンゴ：州別生産実績 1,000トン

年度	リオ・ネグロ	メンドーサ	ネウケン	ブレノス・アイレス	チユブ	サン・ファン	サルタ	ラ・リオハ	その他	計
1973/74	540.0	114.0	101.0	18.5	2.6	4.0	1.2	0.8	3.9	786.0
75	387.0	116.5	77.0	20.0	1.3	1.7	1.2	0.8	2.5	608.0
76	359.7	121.9	66.0	19.7	1.4	3.3	1.1	0.8	2.8	576.7
77	570.0	116.0	103.0	17.0	1.4	4.2	1.9	0.8	5.7	820.0
78	600.0	80.0	103.0	16.5	1.5	1.4	1.4	1.0	5.2	810.0
79	682.0	142.2	122.3	15.4	1.5	2.9	0.5	0.9	4.3	972.0
80	660.0	142.0	119.0	14.0	9.8	2.0	0.4	0.9	9.9	958.0
81	749.0	141.7	131.4	11.8	7.2	2.1	0.5	0.9	13.4	1,058.0
82	576.0	82.5	114.0	9.8	5.0	3.9	0.7	1.3	10.8	804.0
83	530.0	150.0	105.0	9.2	4.8	2.8	0.5	0.5	9.2	812.0

出所：SEAG



アルゼンチンは南半球最大のリンゴ輸出国（年間1億ドル以上）であり、年間100万トン近い生産が続けられている。国内の生産地帯はリオ・ネグロ州、メンドーサ州及びネウケン州の3州に集中しこの3州で全国生産量の97%を占めており、中でもリオ・ネグロ州内のネグロ川(RIO NEGRO)及びコロラド川(RIO COLORADO)沿岸のかんがい地帯アルト・ヴァーレ(ALTO VALE)地方に同州リンゴ生産の90%が集中する。

従来は生産されるリンゴの3分の1が国内市場、3分の2が海外市場に向けられてきたが、最近では1978年を頂点として輸出の減退がみられており、その分国内市場に保留されるため国内でも供給過剰の状況を示している。

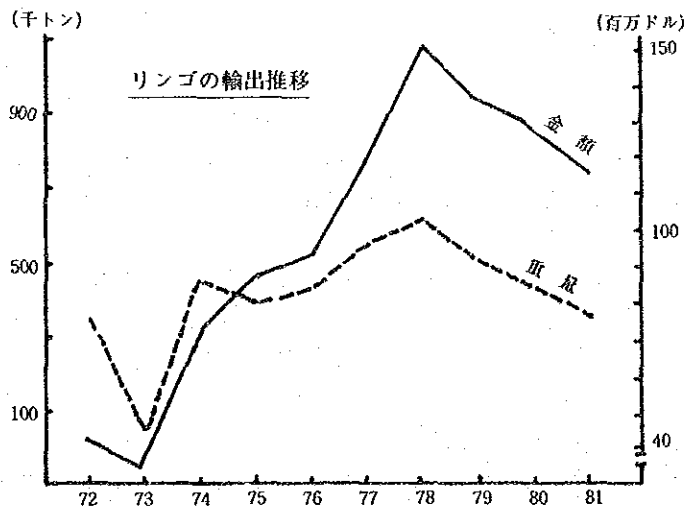
海外市場では隣国のブラジルがもっとも大きな輸出先市場で、70年代の後半にはアルゼンチン輸出の56%を占めた。一方、ブラジル側では同国のリンゴ輸入の92%をアルゼンチンに依存する形態が続いていた。ブラジルに続くアルゼンチンのリンゴ輸出市場としてはオランダ17%、スκανジナビア半島14%、西独9%等がある。

リンゴの輸出量は、70年代には71年の210千トンより78年の357千トンにかけて急上昇し、輸出金額もこの間約4千万ドルより1億5千万ドルへと拡大されたが、以後減退しており、81年で

表 246 リンゴ：輸出実績

年 度	重量 1,000トン	金額 1,000ドル
1971	210.7	39,476.1
72	228.1	42,138.8
73	69.6	32,526.0
74	280.0	74,275.5
75	245.5	89,151.2
76	268.6	93,615.8
77	325.8	117,796.6
78	357.0	151,661.4
79	305.6	137,575.2
80	268.4	130,743.6
81	227.7	116,854.5

出所：INDEC/ INFORMACION ECONOMICO



227千トン、82年210千トン程度に止まっている。

最近の国内、及び海外市場の状況として次の点があげられる。

1) 現行法令(デクレット9244及び補足規定)によるとリンゴの輸出に際しては品質と形状の選別基準があり、輸出規格に合わないものは必然的に国内市場に向けられる。このため大量の生果が国内市場に供給されている。

この国内市場は全般的な経済活動の停滞による一般購買力の減退によって需要度は低く、いきおい低価格が支配している。

2) 外国市場の状況も香ばしくなく大巾な輸出の後退がみられているが、これは主に次の理由によっている。

a) 最近数年間、国の経済政策の中で輸出の振興策が積極的に行なわれず、輸出の手益が保証されていなかったこと。

b) 80年代に入って以降、世界的なリセッションの下で各輸入市場が極度の輸入抑制策をとり輸入を引き締めたこと。生果の輸出は従来より市場の多様化が図られてきた部門ではあったが、これらの輸入抑制策は大きな影響をもたらした。(注：リンゴの場合、約40ヶ国の市場をもっている)

c) EC加入諸国はほとんどがリンゴの生産国であるが、南北半球の気候の差から年間3ヶ月間はリンゴの供給が切れ南半球よりの輸入を行なっている。しかし最近数年間、加入国の中でも農業生産力の強いフランスやイタリアの輸入抑制への圧力や石油危機以降の購買力の減退等が輸入の減少をもたらしてきた。

d) 上述のアルゼンチン国内における輸出振興策の不在は他の南半球輸出国のチリーや南アフリカの輸出拡大を許した。

e) アルゼンチンの輸出先市場としてもっとも大きなウェイトを占めているブラジルでも対外収支の改善を目標とした輸入制限と輸入代替政策が続いており、農産物の中では小麦に次ぐ輸入項目となっているリンゴの国産品による代替えがすすめられている。国産は同国サンタ・カタリーナ州において行なわれているが、すでに8千ヘクタール以上に拡大されており、増産傾向を続けているため、外国とくにアルゼンチンへの依存度は年々減少している。アルゼンチン側では、もっとも重要な市場としてブラジル側の要求に応じ輸出規模を維持するよう努めているが、上の状況から今後ブラジルの輸入は減少こそすれ、従来の規模を維持していくのは困難の見通しである。

表 247 リンゴ：南半球の輸出国及び輸出品量 1,000トン

年 度	アルゼンチン	オーストラリア	チ リ ー	ニュージーランド	南アフリカ連邦	計
1973	69.6	134.4	24.5	71.5	151.1	451.1
74	280.0	97.1	29.5	63.8	145.6	597.7
75	245.6	88.4	45.3	69.8	171.8	621.0
76	258.2	61.2	61.3	79.8	193.1	653.7
77	300.3	35.5	76.5	59.5	119.8	591.5
78	339.2	42.5	116.1	80.5	193.9	772.4
79	318.6	44.0	124.3	92.5	173.7	753.3
80	251.6	49.3	140.6	95.4	165.5	703.4
81	209.3	38.8	160.6	100.1	169.8	678.8
82	210.4	32.5	177.6	99.5	224.4	744.5

出所：USDA, SANZA.

4.5.2 梨

リンゴの場合と同様にリオ・ネグロ州内アルト・バーリエ (ALTO VALLE) 地方を一大生産地としており、この地域を含むリオ・ネグロ州が全国生産の76.5%を占めている。この他メンドーサ及びネウケン両州の生産を

表 248 梨：州別生産実績 1,000トン

年度	リオ・ネグロ	メンドーサ	ネウケン	エラスマイルス	コルドバ	サンルイス	サルタ	サンタ・フェ	その他	計
1973/74	70.3	28.1	3.8	4.0	0.8	0.3	0.7	1.0	1.0	110.0
75	60.0	26.4	4.0	3.7	0.8	0.3	0.5	0.9	0.6	97.2
76	81.6	27.5	6.7	3.9	0.8	0.3	0.6	0.8	0.6	122.8
77	121.0	22.5	9.7	3.5	0.8	0.4	0.1	0.5	1.5	160.0
78	118.0	15.7	10.0	2.8	1.0	0.3	0.3	0.5	1.4	150.0
79	115.6	27.4	10.9	2.6	1.0	0.6	0.2	0.6	1.1	160.0
80	106.8	29.9	10.7	2.5	0.4	0.3	0.1	0.8	3.5	155.0
81	83.0	30.0	9.4	1.3	2.1	0.4	0.1	0.7	3.0	130.0
82	95.5	25.3	10.8	1.3	1.8	0.4	0.1	0.4	1.9	137.5
83	132.5	21.8	13.6	1.1	0.9	0.4	0.1		2.7	173.1

出所：SEAG

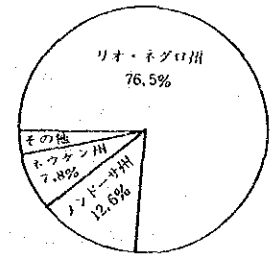
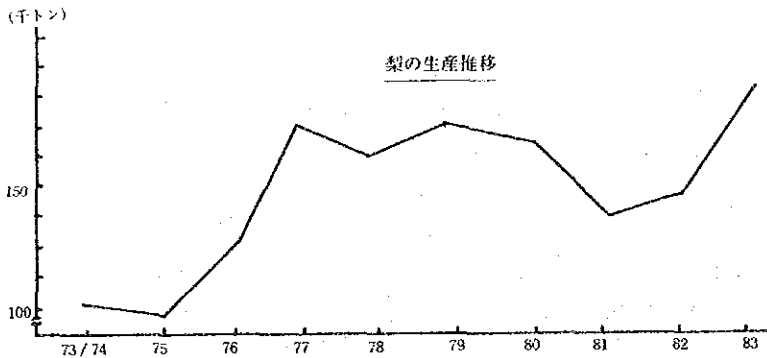


表 249 梨：南半球の輸出 1,000トン

年 度	アルゼンチン	オーストラリア	チ リ	ニュージーランド	南アフリカ連邦	計
1973	11.7	46.4	4.0	1.9	33.9	98.0
74	32.5	37.1	5.4	1.3	21.7	98.0
75	32.8	35.3	8.9	0.6	27.8	105.4
76	47.8	33.8	12.1	1.5	33.8	129.3
77	68.6	24.1	11.9	0.7	37.4	142.8
78	75.9	23.6	15.8	0.8	33.3	149.6
79	69.2	31.9	20.7	1.4	38.1	161.5
80	47.4	32.7	22.1	2.0	51.1	155.4
81	34.8	36.0	21.4	2.0	46.7	141.2
82	55.1	19.6	26.5	2.4	45.6	149.4

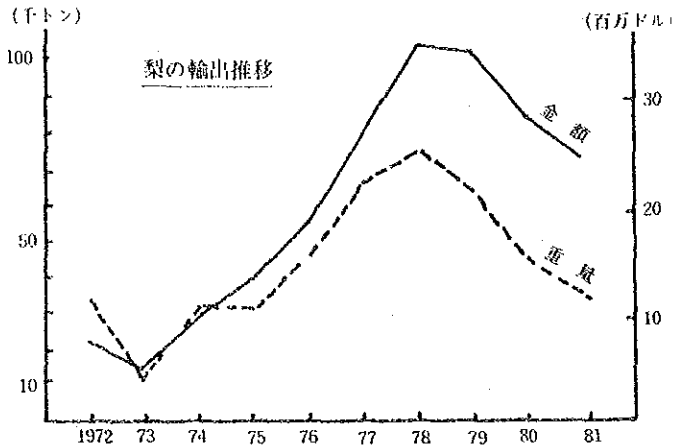
出所：USDA, SANZA



表 250 梨：輸出実績

年度	重量 1,000トン	金額 1,000ドル
1972	33.5	7,193.5
73	11.7	5,597.8
73	32.5	10,855.3
75	32.8	14,257.2
76	48.0	19,389.9
77	68.6	28,211.8
78	77.8	35,225.6
79	66.5	34,676.6
80	47.6	29,381.8
81	36.3	25,590.5

出所：INDEC



合せると全国生産の97%に達する。したがってその他の州の生産比率は僅少である。国内生産量は1977年と79年に達した160千トンを過去の最高記録としていたが、以後81年に130千トンまで落ちたあと復活し、83年には新しく173千トンの生産記録を作っている。

国内市場と海外市場への出荷比率は、輸出量が過去の記録を作った78年には国内生産量の50%に達していたが、以後減少して81年には生産量の30%に落ちたあと82年には再び40%台に戻っている。

海外市場もリンゴと同様に隣国のブラジルがもっとも大きく他にヨーロッパや南米の市場が加えられる。輸出量は78年に約76千トンに達したのを最高に以後減少して、81年には約半分の34.8千トンに落ちたあと82年には、やや復活して55千トンを記録しているが全体的に減少傾向にある。海外市場不振の理由も又リンゴの場合と同様である。

南半球の輸出国としてはもっとも大きく、主要5ヶ国の生産量に対し37%のシェアを持っている。

#### 4.5.3 桃

表 251 桃：州別生産実績 1,000トン

年度	メンドーサ	ブエノスアイレス	コルドバ	リオ・ネグロ	サンタ・フェ	サン・フェン	その他	計
1975/76	125.8	95.6	11.7	18.8	22.1	2.9	11.0	287.9
77	106.0	102.0	11.8	12.3	27.3	3.6	20.0	283.0
78	69.0	108.0	11.0	23.0	15.7	4.2	19.1	250.0
79	101.0	109.0	10.3	26.5	16.3	4.2	14.7	282.0
80	62.4	79.0	34.5	26.4	15.1	2.3	18.3	238.0
81	64.5	80.5	7.7	9.1	19.5	3.1	18.6	203.0
82	64.0	52.0	31.6	9.0	11.8	1.9	11.7	182.0
83	92.7	55.0	44.7	32.9	6.4	2.8	21.6	256.0

出所：SEAG

〈柑橘類〉

アルゼンチンの統計に現われる柑橘類としてはオレンジ、マンダリーナ、レモン及びグレープ・フルーツがある。この中オレンジとマンダリーナはコリエンテス州及びエントレ・リオス州に多く、レモンは北部地方のツクマン及びサルタ、グレープ・フルーツはエントレ・リオス、サルタ、ツクマン及びコリエンテス各州を主要産地としている。

これらの柑橘類は地元を始め、ブエノス・アイレスを中心とするパンパ地方の大消費地帯に供給されるほか、西欧や北欧諸国に一部輸出も行なわれている。

4.5.4 オレンジ

表 252 オレンジ：州別生産実績 1,000トン

年度	コリエンテス	エントレ・リオス	ツクマン	メリオス	サルタ	フファイ	ミシオーネス	サンタ・フェ	その他	計
1973/74	365.0	94.0	76.0	63.0	47.0	41.0	110.0	23.0	14.0	833.0
75	331.8	62.7	96.7	64.2	33.0	26.7	74.0	20.1	19.8	729.0
76	334.7	82.3	58.1	66.3	42.0	63.0	60.5	17.4	18.7	743.0
77	290.0	95.0	65.0	68.0	60.0	70.0	53.0	20.0	19.0	740.0
78	300.0	90.0	68.0	57.0	43.0	47.0	23.0	21.0	21.0	670.0
79	332.0	85.0	60.0	67.0	30.0	32.0	48.0	15.3	15.7	685.0
80	306.0	113.0	76.3	51.5	42.7	36.6	40.0	12.5	21.4	700.0
81	257.6	128.8	53.2	73.5	43.9	36.5	29.5	14.1	16.9	654.0
82	215.0	95.7	74.0	50.9	17.0	38.0	50.0	15.0	20.4	606.0
83	232.5	137.5	69.7	56.0	59.2	37.1	※	※	※	※

出所：SEAG. ※資料なし

4.5.5 マンダリーナ

表 253 マンダリーナ：州別生産実績 1,000トン

年度	エントレ・リオス	サンタ・フェ	コリエンテス	ツクマン	サルタ	サンチャゴ・デル・エステロ	メリオス	フファイ	その他	計
1973/74	95.0	31.0	35.0	16.6	13.0	4.2	21.6	10.0	3.6	230.0
75	90.9	24.7	35.7	17.3	10.5	14.3	22.0	10.1	4.0	229.5
76	85.8	21.8	33.8	10.4	13.8	12.0	23.1	24.4	3.9	229.0
77	104.0	26.0	36.0	16.0	19.0	11.0	23.0	17.0	7.0	259.0
78	105.0	27.0	36.0	18.0	13.0	12.0	21.0	16.0	7.0	255.0
79	96.0	22.0	32.0	17.0	7.0	5.0	23.0	8.6	8.4	219.0
80	96.6	18.0	36.5	17.2	12.6	11.7	4.8	7.1	9.4	214.0
81	104.5	18.9	27.6	16.9	9.4	11.5	7.2	5.0	10.0	211.0
82	125.0	22.5	36.0	16.6	16.5	11.9	7.0	7.1	12.4	255.0
83	123.0	22.8	20.0	16.5	12.8	12.0	8.0	6.9	18.0	240.0

出所：SEAG

4.5.6 レモン

表 254

レモン：州別生産実績

1,000トン

年度	ツクマン	コリエンテス	サルタ	ミシオーネス	エントレ・リオス	フフイ	アノス・アレス	サンタ・フェ	その他	計
1973/74	218.6	14.8	23.4	3.1	16.7	22.0	2.4	3.5	1.5	306.0
75	257.9	13.4	16.0	5.0	17.6	21.9	2.4	3.4	1.4	339.0
76	155.6	14.0	14.3	6.8	15.2	34.6	2.3	3.2	1.0	247.0
77	230.0	19.0	20.0	9.3	16.0	18.0	2.2	3.7	1.8	320.0
78	200.0	21.0	18.0	4.0	12.0	16.0	2.2	3.7	3.1	280.0
79	190.0	19.0	13.0	9.7	15.0	13.0	2.4	2.7	2.2	267.0
80	300.0	18.3	23.4	12.8	13.2	12.7	8.2	1.9	3.5	394.0
81	305.0	19.8	23.0	16.2	16.5	9.9	11.8	3.1	3.7	409.0
82	250.0	32.3	30.9	20.0	18.0	13.0	12.0	3.4	4.4	384.0
83	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※

出所：SEAG ※資料なし

4.5.7 グレープ・フルーツ

表 255

グレープ・フルーツ：州別生産推移

年度	エントレ・リオス	サルタ	ツクマン	コリエンテス	フォルモーサ	サンチャゴ・デル・エステーロ	フフイ	アノス・アレス	その他	計
1973/74	54.0	21.1	23.4	36.0	9.1	3.3	12.8	11.7	5.6	177.0
75	48.5	21.6	29.0	37.0	8.2	5.7	9.2	12.4	13.4	185.0
76	43.5	25.0	28.9	36.2	5.7	5.6	11.6	10.9	12.6	180.0
77	43.0	40.0	23.0	22.0	6.0	4.2	14.0	11.0	4.6	170.0
78	33.0	26.0	24.0	25.0	9.4	4.9	8.5	10.0	4.2	145.0
79	35.0	22.0	20.0	21.0	9.0	5.0	7.8	11.0	4.2	135.0
80	48.0	32.0	25.0	18.3	13.3	5.0	4.6	9.8	7.8	164.0
81	43.0	28.0	24.0	23.4	6.1	5.0	3.7	11.4	10.4	155.0
82	35.0	35.0	23.7	22.0	7.0	5.0	4.6	3.8	11.5	147.6
83	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※

出所：SEAG. ※資料なし

4.5.8 メロン

表 256

メロン：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 kg/ha	生産量 トン
1973/74	6,000	61.7	3,700	10,000	37,000
74/75	6,270	91.1	5,710	10,962	62,700
75/76	6,100	90.2	5,500	11,545	63,500
76/77	5,800	92.2	5,350	10,467	56,000
77/78	6,400	90.8	5,810	11,359	66,000
78/79	6,200	95.2	5,900	11,864	70,000
79/80	6,000	98.3	5,900	11,525	68,000
80/81	6,000	86.7	5,200	11,192	58,200
81/82	5,500	85.3	4,690	11,277	53,000
82/83	5,340	92.3	4,930	12,642	62,450
平 均	5,961	88.4	5,269	11,283	59,685

出所：SEAG

表 257

メロン：州別生産実績

州 別	収穫面積 ha					生産量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
サンチャゴ・デル・エステロ	2,500	2,500	2,000	1,460	2,060	33,400	34,000	27,200	19,600	28,000
サン・ファン	1,180	810	660	560	770	15,600	14,400	9,800	10,000	15,060
メンドーサ	370	370	370	440	490	5,400	3,800	5,600	6,600	6,960
フォルモーサ	420	530	430	450	360	3,400	4,200	2,700	3,200	2,830
サン・ルイス	250	190	260	270	270	2,300	1,050	2,450	2,730	2,750
ブエノス・アイレス	220	240	220	210	100	2,800	2,700	2,500	2,000	1,120
コリエンテス	360	320	410	450	180	1,500	1,600	2,160	2,900	900
サンタ・フェ	110	110	120	110	110	1,150	1,460	1,400	1,170	870
チャコ	50	40	20	50	40	240	270	100	380	260
エントレ・リオス	30	30	30	30	30	140	170	160	150	160
その他	410	760	680	660	520	4,070	4,350	4,130	4,270	3,540
計	5,900	5,900	5,200	4,690	4,930	70,000	68,000	58,200	53,000	62,450

出所：SEAG

表 258

メロン：単収

kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
サンチャゴ・デル・エステロ	13,307	13,600	13,600	13,351	13,592
サン・ファン	13,140	17,561	14,671	17,857	19,308
メンドーサ	14,211	10,270	15,135	14,798	14,061
フォルモーサ	7,907	7,778	6,279	7,111	7,861
サン・ルイス	8,949	5,526	9,142	10,000	10,000
全 国 平 均	11,864	11,525	11,192	11,177	12,642

出所：SEAG

#### 4.5.9 その他の果実

##### イ) CEREZA (桜桃)

表 259 桜桃の生産 トン

州 別	1982/83	83/84推定	生産比率%
メンドーサ	3,030	4,200	73.1
リオネグロ	1,300	850	14.8
ブエノス・アイレス	310	330	5.7
そ の 他	360	370	6.4
そ の 他	5,000	5,750	100.0

出所：SEAG.

##### ロ) CIRUELA (すもも)

表 260 梅の生産 トン

州 別	1982/83	83/84推定	生産比率%
メンドーサ	23,000	29,900	57.4
ブエノス・アイレス	9,700	8,200	15.7
リオ・ネグロ	6,900	4,400	8.5
コルドバ	1,450	3,400	6.5
そ の 他	6,450	6,200	11.9
計	47,500	52,100	100.0

出所：SEAG

注) ブエノス・アイレス州の減産は、生産地帯を襲った強風の被害により、同州内栽培面積の40%を占める“SANTA ROSA”種が被害を受けたためである。

##### ハ) DAMASCO (あんず)

表 261 西洋すももの生産 トン

州 別	1982/83	83/84推定	生産比率%
メンドーサ	18,300	20,000	69.9
サン・ファン	5,000	6,000	21.0
そ の 他	2,500	2,600	9.1
計	25,800	28,600	100.0

出所：SEAG.

注) メンドーサ州では降霜と降雹がなかったため生産を伸ばした。

以上のほか熱帯性果実としては北部及び東北地方に属するフォルモーサを主要産地とするバナナ、ツクマン州、フワイ州を主体とするアボカテがある。この中でバナナは絶対量が不足する果実でエクアドール、ブラジルより輸入が行なわれている。一般に熱帯果樹は栽培適地が少なく、マンゴ、パパイヤ、パイナップル等の栽培もごく小規模である。

4.6 その他の作物

4.6.1 茶

表 262 茶：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 kg/ha	生 産 量 トン
1973/74	36,430	83.0	30,230	2,881	87,100
74/75	41,000	92.0	37,740	4,371	165,000
75/76	44,400	81.1	36,000	3,694	133,000
76/77	39,000	99.9	38,990	3,590	140,000
77/78	43,000	100.0	43,000	2,395	103,000
78/79	40,700	99.7	40,590	3,079	125,000
79/80	41,000	99.2	40,700	3,759	153,000
80/81	41,200	99.3	40,900	3,484	142,500
81/82	41,200	85.4	35,200	4,034	142,000
82/83	41,450	94.8	39,290	4,466	175,500

平 均	40,938	93.5	38,264	3,575	136,610
-----	--------	------	--------	-------	---------

出所：

表 263 茶：州別生産実績

州 別	収 穫 面 積 ha					生 産 量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
ミシオーネス	37,890	37,990	38,200	※	36,350	114,400	142,000	131,300	※	163,300
コリエンテス	2,690	2,700	2,700		2,940	10,600	11,000	11,200		12,200
計	40,580	40,690	40,900		39,290	125,000	153,000	142,500		175,500

出所：SEAG. ※資料なし

表 264 茶：単収 kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
ミシオーネス	3,019	3,737	3,437	4,015	4,492
コリエンテス	3,926	4,074	4,148	4,259	4,136
全 国 平 均	3,079	3,759	3,484	4,034	4,466

出所：

表 265

茶：輸出実績

1,000トン

輸 出 先 国	1978	79	80	81	82
米 国	8.1	7.5	11.7	9.6	12.7
チ リ ー	8.9	9.7	10.3	7.5	9.3
英 国	7.4	5.3	5.5	4.6	3.8
オ ラ ン グ	3.8	2.7	1.3	2.2	2.4
パ キ ス タ ン	0.1	0.5	0.2	0.1	2.1
カ ナ ダ	0.8	0.7	0.4	0.5	0.7
南 ア フ リ カ	—	0.5	0.7	0.1	0.5
西 独	0.2	0.4	0.3	0.4	0.5
そ の 他	1.6	2.3	3.1	0.9	1.1
計	30.9	29.6	33.5	25.9	33.1

出所：I. N. G.

4.6.2 ピメンタ

表 266

ピメンタ：過去10年の生産推移

農 年	植付面積 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 kg/ha	生産量 トン
1973/74	3,600	99.7	3,590	18,639	67,100
74/75	3,200	—	4,880	6,750	33,000
75/76	3,040	39.5	1,200	6,750	8,100
76/77	2,800	93.6	2,620	9,202	24,200
77/78	2,800	97.5	2,730	14,599	40,000
78/79	3,900	97.4	3,800	13,947	53,000
79/80	3,450	96.2	3,320	14,337	47,600
80/81	3,000	86.7	2,600	13,846	36,000
81/82	2,700	97.8	2,640	13,623	36,100
82/83	2,240	99.5	2,230	13,638	30,480

平 均	3,073	96.3	2,961	12,533	37,558
-----	-------	------	-------	--------	--------

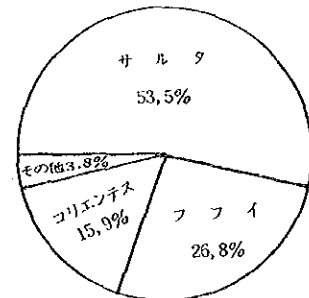
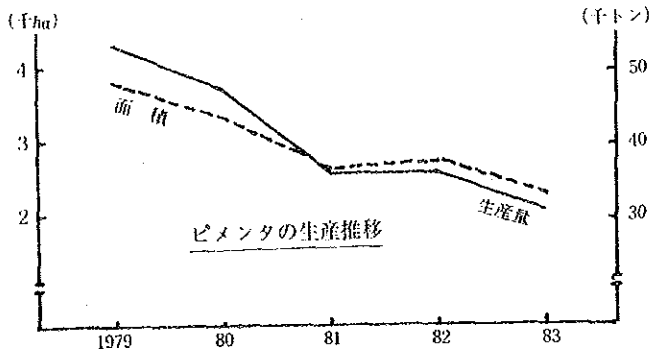


表 267

ピメンタ：州別生産実績

州 別	収穫面積 ha					生産量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
サルタ	1,440	1,450	1,280	1,280	960	23,000	25,700	20,900	21,600	16,310
フファイ	1,150	830	680	650	480	18,000	14,800	11,600	10,800	8,180
コリエンテス	1,080	810	260	360	480	11,800	6,200	2,330	2,500	4,852
フォルモーサ	110	190	320	320	220	200	650	1,000	1,040	860
その他	20	40	60	30	90	—	250	170	160	278
全国計	3,800	3,320	2,600	2,640	2,230	53,000	47,600	36,000	36,100	30,480

出所：SEAG

表 268

ピメンタ：主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
サルタ	15,972	17,724	16,202	16,875	16,902
フファイ	15,652	17,831	16,812	16,615	16,866
コリエンテス	10,826	7,654	8,961	6,944	10,087
フォルモーサ	1,667	3,421	3,125	3,250	3,909
全国平均	13,947	14,337	13,846	13,623	13,638

出所：SEAG

## 4.6.3 コミノ

表 269

コミノ：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 kg/ha	生産量 トン
1973/74	890	98.9	880	461	410
74/75	1,028	※	1,130	487	554
75/76	1,100	95.4	1,050	533	560
76/77	1,140	98.2	1,120	531	600
77/78	1,130	99.1	1,120	602	680
78/79	1,100	100.0	1,100	636	700
79/80	1,100	99.1	1,090	667	730
80/81	1,200	99.2	1,190	609	725
81/82	750	98.7	740	547	410
82/83	1,350	99.2	1,340	593	800

平均	1,079	99.7	1,076	566	617
----	-------	------	-------	-----	-----

出所：※資料なし



表 270

コミノ：州別生産実績

州 別	収穫面積 ha					生産量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
カタマルカ	500	480	500	310	710	350	360	369	198	424
サルタ	540	560	610	410	610	310	340	307	200	368
ラ・リオハ	50	50	50	—	—	40	30	39	—	—
その他	10	—	30	20	20	—	—	10	12	8
計	1,100	1,090	1,190	740	1,340	700	730	725	410	800

出所：

表 271

コミノ：主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
カタマルカ	700	735	738	627	589
サルタ	574	607	499	487	596
ラ・リオハ	667	600	709	—	—
全国平均	636	664	609	547	593

## 4.6.4 煙草

表 272

煙草：州別生産実績

州 別	収穫面積 1,000ha					生産量 1,000トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
サルタ	16.7	18.8	13.8	16.2		17.0	22.0	16.7	22.1	
フフイ	14.1	15.4	13.3	14.8		16.0	19.5	16.9	21.8	
コリエンテス	20.6	12.7	11.8	13.1		18.0	9.2	10.8	9.6	
ミシオーネス	17.9	3.5	2.1	4.7	※	12.0	3.8	3.2	6.1	※
ツクマン	3.2	4.1	3.8	4.7		3.6	5.0	2.4	6.2	
カタマルカ	1.2	1.4	0.9	1.1		2.1	1.5	1.0	1.7	
その他	1.3	1.0	0.4	0.6		1.3	1.0	1.1	1.2	
計	75.0	56.9	46.1	55.2		70.0	62.0	52.1	68.7	

出所：SEAG

※資料なし

#### 4.7 牧畜部門

##### 4.7.1 牛

##### 4.7.1.1 肉牛

アルゼンチンの牧畜部門を代表する牛の飼育は、世界でももっとも高い消費水準をもつ国内市場への供給のほか、年間9億ドル近くの外貨を獲得する重要な輸出部門でもあり、国内経済に大きな影響を持つ部門である。

国内の飼育地帯はブエノス・アイレス、コルドバ及びサンタ・フェ州を中心とするパンパ地方で、全国保有頭数の80%以上がここに集中している。

経済省農牧局の資料によると1983年6月末の全国保有頭数は53.9百万頭と推定されている。この頭数は前年を129万頭増加したものであるが、史上最高を記録した1977年の保有数と比較すると7.1百万頭少ない頭数である。なお上記83年度の推定値は一部の州で行なわれたセンサスをベースとしたものであるが、データの一部に信憑性がとぼしかったため農務局が補足調査によって訂正した数字となっている。

1982年の推定値と比較すると保有数が大巾に増加した州としてブエノス・アイレス(84万頭)、サンタ・フェ(40万頭)及びコルドバ(32.7万頭)があげられる。また最近数年間の特徴としては、牛飼育の中心地を形成するパンパ地方において164万頭の増加がみられたのに対して、その他の地方では356千頭減



表 273

牛：州別保有頭数

州 別	1977年 農牧センサス	1982年 推 定	1983年 推 定	83/82 %
ブエノス・アイレス	22,800.0	19,041.0	19,885.0	4.4
コ ル ド バ	9,524.0	8,177.0	8,504.0	4.0
サンタ・フェ	7,243.0	6,749.0	7,141.1	5.8
エントレ・リオス	4,857.0	4,299.0	4,063.5	(-) 5.4
コリエンテス	4,414.0	3,850.0	3,887.4	1.0
ラ・パンパ	3,639.0	2,883.0	3,100.4	7.5
チャコ	1,873.0	1,550.0	1,602.2	3.4
サン・ルイス	1,391.0	1,318.0	1,414.9	7.3
小 計	55,741.0	47,867.0	49,598.5	3.6
(うちパンパ地方計)	(49,454.0)	(42,467.0)	(44,108.9)	( 3.9)
そ の 他 の 州	5,314.0	4,783.0	4,338.3	(-) 9.3
全 国 計	61,055.0	52,650.0	53,936.8	2.4

出所：SERVICIO NACIONAL DE ECONOMIA Y SOCIOLOGIA RURAL.

少していることで、その結果パンパ地方の全国保有頭数に占める比率が77年の80.9%より83年には81.8%に増加している。

上記の保有頭数の中、屠殺された牛の頭数は11.4百万頭で保有頭数の21.3%に相当する。過去の経緯をみると保有頭数が史上最高の水準に達した翌年に27.8%の屠殺率を示しており、これがこれまでの最高の屠殺率となっ

表 274 最近の牧牛部門に関する統計 (A)

年 度	各6月30日現在 保 有 頭 数 100万頭	屠 殺 頭 数 1,000頭	屠 殺 率 屠殺数/保有数 %	屠殺頭数の中 牝牛の比率 %	屠殺牛の1頭 平均重量 kg
1971	49.8	9,468	19.0	33.4	211
72	52.3	10,010	19.1	32.7	219
73	54.8	9,818	17.9	31.1	219
74	55.4	10,115	18.3	31.9	214
75	57.0	12,146	21.3	40.7	201
76	58.2	13,868	24.3	45.7	203
77	61.1	14,748	24.0	47.0	198
78	58.5	16,250	27.8	49.4	194
79	56.9	15,225	26.8	46.8	198
80	55.8	13,830	24.8	40.9	205
81	54.2	14,566	26.9	44.0	201
82	52.8	12,400	23.5	42.8	207
83	53.9	11,400	21.3	39.6	214

出所：INFORME CANADERO

表 275 最近の牧牛部門に関する統計 (B)

年 度	牛 肉 生 産 量 1,000トン	牛肉国内消費量 1,000トン	牛 肉 輸 出 量 1,000トン	牛肉1人当り 消費量 kg	牛肉輸出価格 US\$/トン
1971	2,000	1,523	477	63	710
72	2,191	1,488	703	61	778
73	2,149	1,598	551	66	1,044
74	2,163	1,874	289	74	818
75	2,439	2,177	262	85	491
76	2,811	2,278	527	88	425
77	2,913	2,308	589	87	452
78	3,146	2,434	740	90	434
79	3,020	2,322	697	85	660
80	2,839	2,370	469	86	661
81	2,929	2,443	486	85	552
82	2,579	1,913	522	71	430
83	※	2,031	408	68	408

出所：INFORME CANADERO ※不明

ているが、この記録に近い高い水準が81年まで続いたあと82、83年と下降し83年度は75年頃の比率に戻っている。

牛の繁殖率はほぼ24%と推定されているので、21%の屠殺が行なわれても保有頭数は増加傾向にあり、83年も又前年比2.4%増加した。アルゼンチンの人口と保有頭数の割合については、1950年代の始めには1人あたり2.6頭の牛を保有していたが、77年には2.3頭、現在は1.85頭へと減少している。

1984年度については屠殺数は83年を3.5%増加する見込み（11.7百万頭）で、繁殖率が24%の線が続けるとして6月末の保有頭数は55百万頭に達するものと推定されている。1979年まで増加してきた牝牛の屠殺比率も81年以降は減少傾向にあり、保有頭数の中に占める牝牛の比率は回復に向う見通しである。

83年度における屠殺牛1頭あたりの平均重量は214kgで、75年以降増加傾向が続いている。これは上述のとおり屠殺頭数の中に占める牝牛の比率が減少し、牝牛の割合が高くなっているための現象である。

83年度には11.4百万頭の屠殺によって約280万トンの牛肉が生産されている。牛肉の生産量は屠殺頭数の減少に平行しており、屠殺数がピークに達した1978年を最高として300万トン台を2ヶ年継続したあと減少気味である。

生産された牛肉は国内市場と海外市場に向けられる。牛肉生産の減少はそのまま国内市場及び海外市場の需要減を反映したものであるが、国内市場では人口の増加にもかかわらず81年まで240万トン前後の横這いのあと82、83年には200万トン台に落ちているため、1人当りの牛肉消費量は78年当時の年間90kgを大巾に下廻る68kgに落ちており、また海外市場でも輸出量の減少、輸出平均価格の下降といった好ましからぬ情勢が続いている。

アルゼンチンの牛肉輸出は1978年に達した740千トンを頂点とし翌79年もこれに近い水準を保ったあと下降を続け、82年にやや復活したものの83年には再び落ちて408千トンに止まっている。輸出平均価格の方は79年と80年のトンあたり660ドルより下降を続け83年には408ドルへと下落しているが、73年頃に達したトンあたり1,000ドル以上の価格と比較すると大きな開きである。

アルゼンチン牛肉の仕向先国は表276に示す通りEC圏、ソ連、米国を伝統的な市場とし、最近エジプト、イラク等が主要市場として加っている。この中でEC圏の輸入は81年度に牛肉輸出の33.7%、82年度に24.4%を占め大きなウェイトを持っているが、その輸入が次第に減少しており、これがアルゼンチン輸出減少のもっとも大きな理由と

表 276 牛肉：仕向先国別輸出実績（1,000トン）

仕 向 先 国	1980	1981	1982
イ) 冷蔵及び冷凍肉			
ソ 連	131.3	113.9	101.5
エ ジ プ ト	7.5	42.8	74.6
E C 圏	74.4	87.3	63.9
イ ス ラ エ ル	17.1	22.6	20.9
イ ラ ク	—	—	20.8
ペ ル ー	0.2	5.6	12.2
アルジェリア	0.7	5.9	11.7
チ リ ー	9.2	11.5	9.2
イ ラ ン	6.7	3.8	9.2
アフリカ大陸※	5.7	5.4	8.5
ス イ ス	6.9	8.9	6.4
カナリヤ諸島	4.3	5.2	4.3
ギ リ シ ャ	17.6	1.0	3.2
ソージ・アラビア	5.0	2.6	1.7
ブ ラ ジ ル	4.7	—	—
ポルトガル	1.8	—	—
ルーマニア	—	6.2	—
そ の 他	5.3	5.4	10.8
小計	298.4	328.1	359.4
ロ) 缶詰及び煮沸肉			
米 国	87.9	64.5	83.1
E C 圏	67.5	76.7	52.7
そ の 他	15.2	16.7	26.8
小計	170.6	157.9	162.6
合 計	469.0	486.0	522.0

出所：Boletín semanal de economía N° 519

※エジプト及びアルジェリアを除く

されている。EC圏におけるアルゼンチン牛肉買付けの減少は圏内における牛肉消費が停滞していたことのほか、圏内の牛肉生産とその輸出に大巾な補助があたえられ、世界でも大型の輸出圏に転じているためであり、ダンピング価格で世界の市場に売込んでいるためアルゼンチンよりの輸入を大巾に減少したばかりでなく、アルゼンチンの海外市場における強力な競争相手としてアルゼンチンの牛肉輸出に極めてネガティブな影響を与えている。

EC圏による影響のほか、隣国のブラジルも又国際収支の改善を目指した輸出振興策の中で、アルゼンチンの輸出先市場であるイスラエル、イラク、エジプト等へ大量の牛肉を売込んでおり、アルゼンチンの輸出に影響を与えた。同じく隣国の牧畜国ウルグァイでも屠殺量の増加から南米の他の輸出国の価格を下廻る供給を行なって国際相場に影響した。更に重要な市場である中東諸国が80年代の当初にみられた国際石油価格の下降によって対外収支の黒字を大巾に減少し、輸入余力を落しているのもアルゼンチンの牛肉輸出に大きく影響している。ちなみに1982年にはエジプト、アルジェリア、イラン、イラク及びイスラエルに対して142千トンの輸出を行なったものが、84年にはイスラエルを除いて具体的な輸出目標が立っていない程である。また多くの開発途上国で牛肉の需要国ではほとんどが外債の増加に悩んでおり、牛肉輸入を落しこそすれ増加する見込みは少なく、したがって国際価格の回復も又当分期待出来ない現状にある。

#### 4.7.1.2 乳牛

乳牛の飼育地帯も牛全体の場合と同様にパンパ地方に集中しており、中でもブエノス・アイレス州の全体、サンタ・フェ州及びコルドバ州の一部が生産の中心地帯となっている。牛乳は保存出来る期間が短いため牛乳を原料とする加工工場も又この三州に集中している。国内の主要乳牛飼育地域は次の通りである。

##### a) 大ブエノス・アイレス圏

ブエノス・アイレス市を中心とした400kmの範囲内約350万ヘクタールの地域で西部に向っては農耕、牧畜地帯、南部はサラード川(RIO SALADO)周辺の草原地帯が含まれる。ブエノス・アイレス州の西部は最近までチーズの生産地帯であったが、ブエノス・アイレス市に通ずる国道が舗装されて以来、小型のチーズ工場はブエノス市への原料輸送中継地として集荷と冷蔵保管施設に変わっている。

##### b) ブエノス・アイレス州南部

主にTANOIL郡やGENERAL PUEYRREDON郡内の避暑地への供給を主目的とした牛乳生産。

##### c) サンタ・フェ州中西部

国内でも重要な乳牛飼育地帯で、ラファエラ(RAFAELA)市を中心として乳牛牧場が集中する。生産される牛乳の中、生牛乳としての供給は地域内の都市に限定されるので生産物の大半はチーズ、粉乳、バター等の製造原料に向けられる。生産地帯の中には多くの協同組合があり、隣接するコルドバ州のサンフスト(SAN JUSTO)郡もこの地帯に含まれる。

##### d) ロザリオ地帯

ロザリオ協同組合(COOPERATIVA ROSARIO-COTAR)を中心とした生産活動が行なわれている。この地帯は農耕も盛んであり、乳牛生産よりも収益性の高い大豆作などへ転換する牧場が増加しつつある。

##### e) コルドバ州ビーリャ・マリア(VILLA MARIA)地域

主にチーズの生産原料を目的とした乳牛生産が行なわれている。

##### f) コルドバ州東北地方

ブエノス・アイレス市及びロザリオ市の工場へ搬出するための集荷、冷蔵施設が多く設置されている。

##### g) その他

ブエノス・アイレス州SALLIQUERÓ, FIGUÉ, SAVEDRA, CORONEL SUARES地域、ラ・パンパ州、

表 277

## 牛乳：生産量及び消費量（1980年）

州 別	生産量		消費量		需給残 100万ℓ	対外供給 又は 依存度%
	100万ℓ	%	100万ℓ	%		
ブエノス・アイレス	1,500	29.4	3,600	72.1	(-)2,100	- 140.0
コ ル ド バ	1,400	27.5	456	8.9	950	67.9
サ ン タ ・ フ ェ	1,350	26.5	465	9.1	890	65.9
エントレ・リオス	240	4.7	170	3.3	70	29.2
ラ ・ パ ン パ	50	1.0	38	0.7	12	24.0
そ の 他	550	10.0	550	10.7	—	—
計	5,100	100.0	5,100	100.0	—	—

出所：INFORMACION ECONOMICA

注) 消費量の中には輸出分 100 百万 ℓ 相当が含まれる。

エントレ・リオ州、コルドバ州南部、サルタ州、ツクマン州の一部にも乳牛生産の集中地帯がある。

以上の生産地帯を含む5大生産州（コルドバ、サンタ・フェ、ブエノス・アイレス、エントレ・リオス及びラ・パンパ）で国内生産量の90%を生産する。牛乳の国内生産量は約5,000百万リットルで70年代の後半より安定しており、80年までの統計では毎年大きな変化はない。以上の生産地の中でも最大の生産を行なっている州は大消費都市のブエノス・アイレス市を控えるブエノス・アイレス州で、80年には1,500百万ℓの生産をあげて全国生産の29.4%を占めた。これに続くコルドバ州及びサンタ・フェ州もほぼ同等の生産規模で、それぞれ27.5%及び26.5%の生産シェアを示している。

他方、消費面ではブエノス・アイレス州が全国消費量の72.1%を占めて圧倒的に大きく、年間3,600百万ℓの牛乳を消費しているため、不足分の2,100百万ℓはコルドバ州及びサンタ・フェ州より供給を受けている。

全国的にみると全体的に自給体勢にあり、国内で生産される牛乳の90%が国内市場に向けられる。したがって現在の需給水準を上廻る生産分はすべて海外市場を対象としなければならない。

現在までのところ加工製品の輸出は流動的で固定した輸出先市場はなく、随時状況に応じた輸出が行なわれている。これまで、史上最高の牛乳生産を記録した1976年には加工製品の中、粉乳の30%、バターの20%及びチーズの9%を輸出しており、これがアルゼンチンの輸出能力

を示す指数とされている。ちなみに牛乳加工品の国産量はチーズ約250千トン、バター30千トン、粉乳65千トン

表 278 牛乳：世界の生産性：年間1頭当り生産量 (kg)

国 別	1978	1979	1980
日 本	5,903	5,706	5,633
米 国	5,071	5,088	5,203
オ ラ ン ダ	4,824	5,052	4,971
英 国	4,585	4,787	4,726
西 独	4,158	4,280	4,433
フ ラ ン ス	2,937	3,034	3,132
ニュージーランド	3,150	2,863	3,118
カ ナ ダ	3,171	3,083	2,957
オーストラリア	2,605	2,620	2,869
ポ ー ラ ン ド	2,825	2,849	2,814
イ タ リ ー	2,597	2,650	2,702
ソ 連	2,049	2,211	2,157
アルゼンチン	1,930	1,939	1,933
ブ ラ ジ ル	805	855	806
イ ン ド	500	500	500

出所：INFORMACION ECONOMICA

程度である。

国内市場では生産された牛乳の30%だけが生の状態で消費される。生牛乳の消費量はここ40年間1,500百万ℓで安定しているが、このことは人口1人当りの牛乳消費量が極度に減少していることを示すものであり、反面、加工品の消費が増加していることを示すものでもある。

工業加工に向けられる牛乳の割合は1940年代より今日にかけて増加しており、1941年に牛乳生産量の56%が加工用に向けられたのに対し1980年には70%に達している(3,650百万ℓ)。また加工内容としてはチーズと粉乳の生産が増加してきた反面バター生産は減少している。

世界の需給状況(1980年)をみると世界生産の41.5%はヨーロッパ、ヨーロッパの生産量175百万トンの中、102百万トンはEC諸国が占めており、フランス、西独、オランダ、イタリア、英国等が主要生産地帯となっている。単独で世界最高の生産量を持つのはソ連で世界生産の22.5%に相当する92.8百万トン、米国は56百万トンで、カナダと合せ17.4%のシェア、その他の大陸(アフリカ、アジア、南米、大洋州)が16.2%のシェアである。

人口一人あたりの生産量をみると大洋州における590kgを最高として米国、ヨーロッパ諸国、ソ連が200kg以上であり、牛乳製品の供給者としてのポテンシャルを持つ国とされている。南米、アフリカ、アジアの生産は最近増加傾向にあるものの依然として不足である。

また1頭あたりの牛乳生産量についてみると日本、米国の5,000kg以上、オランダ、英国、西独の4~5,000kgなどに比してアルゼンチンの場合、年間2,000kg以下であり、低い生産性である。

#### 4.7.2 羊

アルゼンチンの牧畜部門の中では牛に次ぐ重要な家畜で全国に普及しているが、中でもパタゴニア地方に集中的に飼育されており、77年の農牧統計では全国保有頭数35百万頭の約40%がここに集中している。昔は中央のパンパ地方で飼育されていたが、牛の飼育や輸出作物の農耕が優先されて、羊の飼育は次第に南下し国内でもっとも寒く不毛の地といわれていたパタゴニア地方に定着し、ここに新しい産業を出現させた点が特に重要視されている。

国内で飼育されている品種はCORRIEDALE, LINCOLN, NERINO AUSTRALIANO, ROMMEY MARSH等であるが、この中肉用としてはCORRIEDALE種がもっとも広く普及しており、全保有頭数の半分近くを占めている。また羊毛の生産分野ではLINCOLN種で生産性が高いため普及度が高く、保有頭数の20%近くがこの品種によっている。

年間の屠殺数に関する新しい資料は入手していないが、80年度の統計年鑑によると70年代を通じて年間約450万頭

表 279 羊保有頭数

年 度	保 有 頭 数 1,000頭
1947	51,171.6
1952	56,216.3
1960	48,456.7
1969	41,719.9
1974	34,691.4
1977	35,219.6

出所：Anuário estadístico 1980

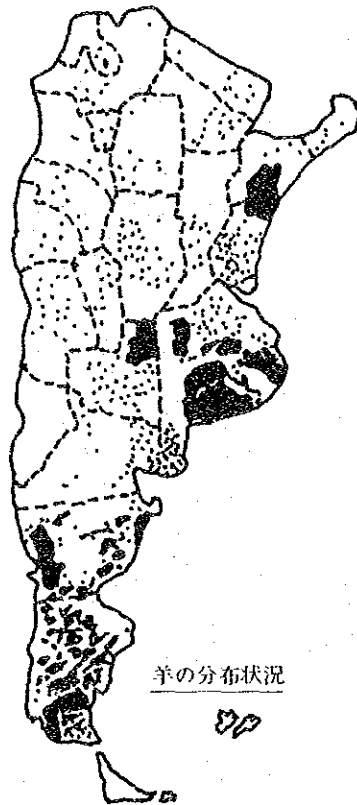


表 280 羊：国内分布状況 (1977)

地域及州別	頭数 1,000頭	比率 %
パタゴニア地方	13,520	39.1
ブエノス・アイレス	9,598	27.8
リオ・ネグロ	3,255	9.4
コリエンテス	2,143	6.3
エントレ・リオス	1,403	4.1
ラ・パンパ	1,217	3.5
その他	3,394	9.8
計	34,580	100.0

出所：Anuario estadístico 1980

表 281 羊肉の輸出実績

年度	重量 1,000トン	金額 1,000ドル
1973	24.3	27.1
74	18.2	21.3
75	21.1	21.3
76	26.2	26.3
77	28.4	35.6
78	24.4	35.6
79	22.6	42.6
80	11.1	23.3
81	14.2	29.8
82	16.1	27.3

出所：Boletín semanal de economía N° 516

が屠殺され、13万トン前後の羊肉が生産されてきた。羊肉の市場は約75%が国内市場、残りが海外市場の割で70年代の終りには4千万ドル近くがEC圏を中心とする海外市場に輸出されてきたが、80年代に入ってからからは牛肉の場合と同様に減少傾向にある。羊毛の生産量は78年度の統計で総量152,575トンであり、その約半分が海外（ヨーロッパ、日本、ソ連等）に輸出されている。

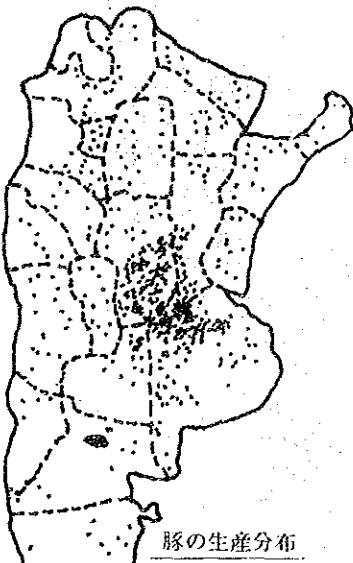
#### 4.7.3 豚

牛肉が豊富に生産されているため、牧畜サイクルの中で牛肉の価格が高騰する時期以外には大きな豚肉の需要はない。したがって生産規模も小さく、全国で400万頭以下の保有頭数であり、ブラジルの10分の1程度である。

年間の肉生産量は25万トン前後で、その大部分が国内で消費されており海外への輸出は僅少である。ちなみに81年の輸出は567トンで約80万ドル、82年度は610トンで54万ドル程度の輸出額であった。

表 282 豚保有頭数

年度	保有頭数 1,000頭
1947	2,930.8
1952	4,023.6
1960	3,880.7
1967	3,925.5
1974	4,126.7
1977	3,551.7



豚の生産分布

表 283 豚肉の生産量及び消費量 1,000トン

年度	生産量	国内消費量	輸出品
1970	210.2	202.7	7.5
1975	255.1	247.7	7.4
1976	257.8	240.0	17.8
1977	241.9	234.8	7.1
1978	214.1	212.4	1.7
1979	259.0	258.5	0.5

出所：Anuario estadístico 1980



#### 4.7.4 馬

表 284 馬保有頭数

年度	保有頭数 1,000頭
1947	7,281.4
1952	7,180.6
1960	4,846.5
1969	3,039.7
1974	2,753.5
1977	3,073.5

表 285 馬肉の輸出実績

年度	重量 1,000トン	金額 1,000ドル
1973	58.7	43.1
74	28.8	29.9
75	28.5	25.4
76	38.0	33.2
77	37.8	38.7
78	43.6	54.2
79	44.2	70.9
80	32.7	62.5
81	34.4	59.8
82	44.5	63.6

出所：Boletín semanal de economía N° 516

全国的に普及しているが、牛や豚の場合と同様にパンパ地方が飼育の中心地帯である。1930年代には1千万頭を保有していたが、馬耕より機械化への農耕形態の変化や交通機関の発達によって馬の利用度が薄らいできたため、保有頭数も300万頭程度に落ちている。輸出品目としての馬肉は年間6千万ドル前後の販売が続いている。

#### 4.7.5 その他の家畜

表 286

その他の家畜生産量

品 目	単位	1975	76	77	78	79
蜂 蜜	トン	18,000	24,000	18,000	35,000	36,000
鶏	100万羽	175.8	169.0	165.5	170.0	187.0
あ ひ る	〃	1.5	1.1	1.0	1.0	1.2
七 面 鳥	〃	1.4	1.2	1.1	1.2	1.4
卵	100万打	295.1	284.6	277.0	275.2	306.0
(内一般消費用)	〃	(275.6)	(269.6)	(256.0)	(253.7)	(282.4)

出所：ANUARIO ESTADISTICO

表 287

蜂蜜の輸出実績

単位：トン

輸出先国	1979	1980	1981	1982
西 独	6,970.6	7,150.1	7,200.3	8,821.3
米 国	331.1	780.6	5,909.8	8,166.9
イタリー	6,510.0	4,818.4	4,961.9	4,167.3
スペイン	1,280.8	2,204.8	2,181.8	3,808.8
日 本	5,832.5	2,065.8	5,298.4	3,466.6
英 国	1,700.6	1,190.2	1,062.0	622.1
そ の 他	963.6	1,276.1	1,397.1	797.0
計	23,589.2	19,486.0	28,011.3	29,802.3

出所：INFORMACION ECONOMICA

4.7.6 飼料作物

表 288 アルファファ種子：過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 1,000ha	収穫率 %	収穫面積 ha	単 収 kg/ha	生産量 トン
1973/74	2,598.0	3.2	83,860	176	14,760
74/75	2,428.0	3.7	89,410	170	15,200
75/76	2,340.8	3.8	89,080	174	15,500
76/77	2,513.0	2.7	67,260	223	15,000
77/78	2,430.0	3.2	78,820	170	13,400
78/79	2,400.0	2.6	62,500	160	10,000
79/80	2,225.2	3.1	70,140	154	10,803
80/81	2,000.0	3.4	68,610	137	9,400
81/82	1,766.0	3.7	66,170	136	9,000
82/83	※	※	—	※	※

出所：SEAG ※資料なし

表 289 アルファファ種子：州別生産実績

州 別	収 穫 面 積 ha					生 産 量 トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
ラ・パンパ	21,210	24,770	33,870	32,540		2,100	2,700	3,354	3,417	
コルドバ	21,330	22,970	16,030	18,220		3,200	3,400	2,758	2,643	
ブエノス・アイレス	11,480	16,810	15,020	9,430		3,100	3,263	2,600	1,717	
メンドーサ	—	—	—	900		—	—	—	360	
サンタ・フェ	420	1,300	800	800	※	30	90	226	226	※
リオ・ネグロ	1,870	900	930	830		600	400	181	183	
サン・ファン	400	400	150	340		190	170	65	155	
サン・ルイス	150	600	1,120	1,110		30	60	112	111	
そ の 他	5,640	2,390	690	2,000		750	720	105	188	
計	62,500	70,140	68,610	66,170		10,000	10,803	9,400	9,000	

平均：SEAG ※資料なし

表 290 アルファファ種子：単収 kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
ラ・パンパ	90	109	99	105	
コルドバ	150	148	172	145	
ブエノス・アイレス	270	194	173	182	
メンドーサ	—	—	—	400	※
サンタ・フェ	70	69	282	280	
全 国 平 均	160	154	137	136	

出所：SEAG ※資料なし

表 291 アルファファア：(牧草) 過去10年間の生産推移

年 度	植付面積 1,000ha	収穫率 %	収穫面積 1,000ha	単 収 kg/ha	生 産 量 1,000トン
1973/74	2,598.0	21.5	557.9	6,067	3,385.0
74/75	2,428.0	21.0	509.7	6,193	3,157.0
75/76	2,340.8	20.5	480.7	6,332	3,044.0
76/77	2,513.0	18.5	465.9	6,009	2,800.0
77/78	2,430.0	17.4	422.9	6,265	2,650.0
78/79	2,400.0	16.3	391.6	6,391	2,503.0
79/80	2,225.2	15.2	338.8	6,444	2,184.8
80/81	2,000.0	18.7	375.3	6,820	2,559.7
81/82	1,766.0	17.4	307.5	5,787	1,780.0
82/83	※				

出所：SEAG ※資料なし

表 292 アルファファア：牧草州別生産実績

州 別	収穫面積 1,000ha					生 産 量 1,000トン				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
コ ル ド バ	66.5	71.5	170.8	129.0		399.0	465.2	1,387.7	713.6	
ブエノス・アイレス	135.6	102.0	81.0	64.3		1,004.0	751.4	511.9	396.2	
サンチャゴ・デル・エステロ	80.3	52.2	36.1	27.1		410.0	252.2	147.1	149.5	
サンタ・フェ	58.6	15.4	6.3	6.2		230.0	191.1	78.4	77.0	
メンドーサ	14.5	13.3	11.3	11.8		100.2	79.8	67.9	71.3	
リオ・ネグロ	8.2	6.7	7.5	7.3	※	47.0	46.6	50.8	61.5	※
ラ・パンパ	32.0	40.6	30.4	30.9		50.0	73.4	55.3	56.2	
エントレ・リオス	9.2	6.6	6.6	5.6		91.0	61.7	61.8	52.3	
サン・フェン	11.7	7.8	5.4	4.4		93.0	78.5	47.5	36.3	
サルタ	3.1	2.9	4.4	3.8		28.0	24.0	33.4	33.3	
そ の 他	9.7	19.8	15.0	25.1		10.8	160.9	117.9	132.8	
計	391.6	338.8	375.3	307.5		2,503.0	2,184.8	2,559.7	1,780.0	

出所：SEAG ※資料なし

表 293 アルファファア：牧草単収 kg/ha

州 別	1979	80	81	82	83
コ ル ド バ	6,000	6,506	8,120	5,529	
ブエノス・アイレス	7,400	7,362	6,317	6,154	
サンチャゴ・デル・エステロ	5,101	4,831	4,065	5,515	
サンタ・フェ	3,919	12,339	12,441	12,303	※
メンドーサ	6,900	6,000	6,000	6,000	
全 国 平 均	6,391	6,447	6,820	5,787	

出所：SEAG ※資料なし

#### 4.8 林業部門

アルゼンチンの林業部門は農牧林業の中では絶対量が不足する数少ない部門の一つで、毎年大量の木材輸入が行なわれており、多額の外貨を流出している部門である。輸入は主にいまだに森林資源が豊富に残されている隣国のパラグアイ及びボリビア（サンタ・クルス州）より行なわれており、その輸入額は5千万ドルより1億3千万ドルの範囲である。この様に大きな木材需要があるため上記両国にとっては極めて重要な市場となっており、両国の貿易収支にも相当のウェイトを占めている程である。

アルゼンチン国内の森林資源地帯としては、パラグアイ川とウルグァイ川に挟まれたミシオーネス森林、その南部でコリエンテス及びエントレ・リオ州に広がるメソポタミコ森林、サンタ・フェ、コルドバ州を中心としパラグアイ、ボリビア国境にいたるツクマーノ、ボリビアノ及びチャケーニョ森林、アンデス山麓の西部山岳森林などがあるが、有用材の保有量、搬出の便などよりもっとも多く利用されているのはミシオーネス森林、メソポタミコ森林及びチャケーニョ森林で前2者よりは松材、ユーカリ、ポプラ、後者よりはタンニンの原料をとるケブラーチョの伐採搬出が行なわれている。

最近の統計に欠けるが、1980年度の統計年鑑（現在まで発行されているもっとも新しい年鑑）によると国内の木材生産量は約500万トンで年々増加傾向にある。

表295によると搬出された木材の用途別では製材に用いられる丸太がもっとも多く薪、木炭、電柱の順となっている。

用途別木材の中、丸太の生産地別にみると東北地方のミシオーネス州がもっとも多く全国生産量の37%を占めており、チャコ州13.5%、エントレ・リオ州8.3%、フォルモーサ州6.2%の順となっている。

また薪用の木材生産地としてはチャコ州（18.0%）、サルタ州（10.1%）、サンタ・フェ州（8.0%）と中央及び

表 294 木材及び加工品の輸出入 100万ドル

年 度	輸 入	輸 出
1971	72	—
72	51	—
73	57	—
74	99	—
75	102	—
76	36	—
77	53	—
78	51	1
79	123	1
80	※	—
81	129	—
82	65	—

出所：INDEC

表 295

用途別木材搬出統計

1,000トン

年度	丸 太	薪	電 柱	木 炭	支柱用材	枕 木	杭	細 材	その他	合 計
1971	1,942.8	935.9	166.6	542.9	61.3	137.3	10.8	16.6	61.9	3,876.1
72	2,112.3	1,255.8	214.6	373.2	127.6	154.1	23.3	21.1	58.7	4,342.5
73	1,988.2	1,167.5	173.9	307.4	168.7	129.2	29.6	21.9	29.3	4,015.8
74	2,393.4	1,127.4	206.4	535.8	68.8	78.9	12.7	30.4	74.2	4,528.0
75	2,331.8	1,054.3	132.8	296.3	35.7	44.5	12.4	11.6	59.1	3,978.5
76	2,825.7	1,095.0	166.5	277.8	33.2	60.8	5.6	7.2	52.4	4,524.2
77	3,064.6	993.7	168.6	325.0	28.7	32.1	20.3	32.0	23.2	4,630.1
78	2,793.2	823.1	122.7	498.5	40.0	21.2	55.0	27.0	32.2	4,412.9
79	3,489.4	773.2	171.2	329.5	104.5	53.5	16.5	17.6	31.5	4,987.0

出所：ANUÁRIO ESTADÍSTICO 79-80

表 296

木材：州別生産状況（1979年）

1,000トン

州 別	丸 太		薪		木 炭	
	生産量	%	生産量	%	生産量	%
ミシオーネス	1,295.7	37.1	49.7	6.4	1.3	0.4
チヤコ	471.4	13.5	138.9	18.0	89.5	27.2
エントレ・リオス	290.8	8.3	37.2	4.8	0.5	0.2
フォルモーサ	215.7	6.2	2.5	0.3	17.1	5.2
メンドーサ	135.1	3.9	1.9	0.2	—	—
ブエノス・アイレス	97.0	2.8	7.0	0.9	—	—
サルタ	96.1	2.7	78.3	10.1	81.2	24.6
コリエンテス	76.6	2.2	7.1	0.9	—	—
サンチャゴ・デル・エステーロ	8.3	0.2	58.4	7.6	88.8	26.9
その他	802.7	23.1	392.2	50.8	51.1	15.5
計	3,489.4	100.0	773.2	100.0	329.5	100.0

出所：ANUÁRIO ESTADÍSTICO 1980

北部地方よりの搬出が多く、ミシオーネス州やエントレ・リオス州よりの搬出は少ない。木炭の場合もチヤコ、サンチャゴ・デル・エステーロ及びサルタ州の生産が大きい。これはこの地方に硬材が多いためである。

また搬出された木材の種類は丸太の場合は、製材に適した松材がもっとも多く全搬出量の22.7%、タンニン材を利用するケブラーチョ・コロリード材 (QUEBRACHO COLORIDO) 12.2%、ユーカリ材11.3%、ポプラ材10%の割となっている。

なお、アルゼンチンの統計年鑑に発表されている国内の森林面積及び植林面積は表 297 の通りである。

表 297 アルゼンチンの森林及び植林面積（1970） 1,000ha

州 別	自然林	造成林
リオ・ネグロ	7,027	118
サルタ	6,337	9
ラ・パンパ	5,217	17
サンチャゴ・デル・エステーロ	4,538	96
ラ・リオハ	3,089	6
メンドーサ	2,929	16
フォルモーサ	2,492	8
サン・ルイス	2,483	40
チヤコ	2,439	34
コルドバ	2,425	52
チエーブ	1,880	32
サンタ・フェ	1,686	37
エントレ・リオス	1,535	102
ミシオーネス	1,150	76
その他	6,861	296
計	52,088	939

出所：ANUÁRIO ESTADÍSTICO

〔参考資料〕

NUMERO ESTADISTICO 1982, 1983	ブエノス・アイレス穀物取引所
ESTIMACION DE LA PRODUCCION	経済省農牧局
INFORMACION ECONOMICA	経済省
ANUARIO ESTADISTICO DE LA REPUBLICA ARGENTINA	経済省統計院
MEMORIA - MINISTERIO DE ECONOMIA 1976~1981	経済省
LA PRODUCCION RURAL ARGENTINA	アルゼンチン農牧銀行
ENCUESTA DE EXPECTATIVAS AGROPECUARIAS	アルゼンチン農牧銀行
MEMORIA ANUAL 1982	アルゼンチン中央銀行
INTA MEMORIA TECNICA 1980	農牧技術院
BOLETIN SEMANAL DE ECONOMIA	経済省
PERSPECTIVAS AGROPECUARIAS 1984	アルゼンチン農業経済協会
LA ARGENTINA AGROPECUARIA Y EL INTA	農牧技術院
アルゼンチン情報	在聖日本商工会議所

1984年9月

報告書作成

SIN PROMOÇÃO E MARKETING LTDA.  
RUA DR. CINTRA GORDINHO, 117  
ALTO DA LAPA - SÃO PAULO  
BRASIL



JICA